

2017 年度 公益財団法人日本台湾交流協会 フェローシップ事業成果報告書

江戸時代日本に伝わった中国閩南方言の研究
—『華夷変態』に見る中国地名の字音を手掛かりに—

静宜大学日本語文学系

蔡雅芸

招聘期間（2017 年 7 月 6 日～9 月 3 日）

2018 年

公益財団法人日本台湾交流協会

江戸時代日本に伝わった中国閩南方言の研究

— 『華夷変態』に見る中国地名の字音を手掛かりに—

蔡 雅芸

一、はじめに

江戸時代、日本は中国人を「唐人」、中国船を「唐船」、中国船貿易を「唐人貿易」、または「唐船貿易」と通称していた。唐船貿易は江戸時代の初期から幕末までの二百年以上にわたり、ほぼ毎年欠けることなく続いていた。しかし、長崎に来航した唐船の数は中国側の政治事情や徳川幕府の貿易政策などの影響により、変動していた。貞享元年(1684)以前は二十数隻台であったが、天和三年(1683)台湾の鄭氏が清朝に降り、清朝が海禁令の「遷界令」を翌貞享元年(1684)に解禁すると、長崎に来航した唐船の数は貞享二年(1685)に85隻、貞享三年(1686)に102隻、貞享四年(1687)に105隻、元禄元年(1688)に194隻というように急増した。入港した唐船の数が増加するに伴って長崎に上陸した唐船の乗員も多いわけで、元禄元年(1688)年の一年に長崎に上陸した唐人は9,000人以上のぼり、この頃の長崎市中の人口数が約5万人であることから計算すると、一時的ではあるが、長崎に滞在する唐人は長崎市中の人口の20%を占めていた¹。

唐船の乗員は長崎に到着後即時帰国した訳ではなく、数か月長崎に滞在していたため、元禄元年(1688)の五月から八月までの四ヶ月間は少なくとも8,000人近い唐人が長崎市中に短期的居住していた²。元禄二年(1689)唐人屋敷開設以前、唐人たちは長崎市中に散宿して自由な生活を送っていたため、日常的に日本人と接する機会も多かった。8,000人ももの夥しい人数が四ヶ月滞在していたことから想像すると、当時の長崎の港や唐人の宿町は毎日唐人の声で賑わっていたに違いない。

なお、江戸時代は中国の明代末期と清代に当たる時期であり、江戸時代日本に渡航した中国人が話した言葉が明、清時代の中国語であることは言うまでもない。ただし、明、清時代中国には現代中国における「普通話」のような全国共通の言葉がないため、当時の中国人が話す言葉は原則的にその出身地の方言であった。換言すれば、江戸時代当時の中国各地の方言が唐人の長崎滞在によって日本に伝わっていた。長崎の唐人社会における中国各方言の使用人数の割合を直接に示す資料はないが、先行研究では長崎に来航していた唐船の出帆地や、通訳の仕事を担当していた唐通事の「口別」(方言別)の割合などの資料から、三方言(南京、福州、閩南)の中、日本来航の唐船の乗員に閩南方言の実際使用人数が上位を占めていたことが判明し、また、いくつかの当時の中国の

¹松浦章『江戸時代唐船による日中文化交流』、思文閣、2007年7月、257頁。

²松浦章『江戸時代唐船による日中文化交流』247頁。

方言に関する史料が日本に現存していることも分かった。

一方、方言の研究に日本においては「方言圏論」という方言分布の解釈の原則仮説をもって考えてみると、方言の語や音などの要素が文化的中心地から同心円状に分布する場合、外側にあるより古い形から内側にあるより新しい形へ順次変化したと推定するのであれば、海外まで伝わり、海外の国の歴史資料に残された方言の語彙や音はいわば外側にまた外側にあるものであり、より古い形のままで残されている可能性があると思われる。そこで、日本に残った江戸時代の中国の方言史料は中国の明、清時代の中国の方言を研究する手掛かりの一つにもなるのではないかと考えられる。

二、本研究の視点

江戸時代唐船貿易の進行に伴い大勢の中国人が長崎に来航した。彼らは主に唐通事の通訳を通して日本人との意思疎通をしていた。つまり、唐通事は江戸時代において日本人と中国人間における言葉のかけ橋的存在であった。唐通事は通訳の仕事のほか、文字資料として、岡島冠山が編纂した唐話教本を始め、「長崎通事唐話会」や『華夷変態』などが残っている。

岡島冠山の唐話教本などは唐話研究または日中言語交流研究などの分野においてはとても重要な資料であることは言うまでもない。

それに対して『華夷変態』は唐通事が作成した唐船風説書を収録した史料であり、その資料の収録年数は80年以上に及び、収録数も約二千三百通に達することから、従来、日中交流史研究及び日中貿易史研究において大変研究価値の高い史料として扱われてきた。これに関する先行研究は専ら『華夷変態』に収録されている風説書などで記録されている江戸時代の海外情報のみを焦点を当てる論著が殆どである。先行研究では同資料の言語的要素に対する関心は全くなかった。なぜなら『華夷変態』に収められている風説書は日本語で作成されたものだからであろう。しかし、唐船風説書の作成の実際の担当者は唐通事であり、唐通事は現代で言えば二つの言語を母語にもつバイリンガルである。唐話教本はその語学力の基礎作りに関わるものであれば、『華夷変態』の内容は唐通事の日本語と中国語の両方の能力が総合的に通訳の仕事に生かされた結果だと言えよう。

唐船風説書は唐通事が中国語で唐船の乗員から聴取したものを日本語に翻訳したものであり、もともと中国語で語られた内容を日本語に翻訳する際、意図的に、あるいは無意識的に、聴取した原語の中国語の要素がその文章に残っていても不思議ではない。蓄音器が発明される前の時代の話し言葉の研究において、勿論その音声の研究は至難のことである。日本語の場合、表音文字である仮名という便利な手段があるため、古き時代の日本語の音声研究は仮名表記を通して可能となった。一方、唐船貿易に伴い、日本伝わった中国明、清時代の中国の話言葉の音声も仮名を利用することで記録として残された可能性がある。中国の明、清時代には全国共通する言葉がなかったため、日本に残された中国語の史料は唐船の出帆地や唐船の乗り組み員の出身地の方言のものである性も

ある。こういう史料は特に文字記録の少ない地方の方言にとっては貴重な資料と成りえるだろう。

そこで本研究は、本来言語研究史料と見なされていない『華夷変態』に見られる中国地名の字音を手掛かりにして、それを江戸時代日本に伝わったの中国語の方言研究に生かす可能性を探ってみたい。

二、江戸時代唐船の来航状況

寛永十二年（1635）に鎖国令の発布により、日本人の海外渡航が禁止され、日本船が貿易に出ることができなくなり、日中の貿易は唐船の来航を待つのみとなった。一方、中国は順治元年（1644）に北京が陥落し、明朝は滅び、清朝に変わったが、鄭成功の一族は台湾を基地として、反清の抵抗を続けていたため、清朝側はこの鄭氏の動きの対応に、順治十八年（1661）に遷界令を発布し、これまでの海禁の制度を強化し、さらに沿海から一定の距離を隔てた地域に民を強制移住させ、海浜を空白地帯にして鄭氏の孤立をはかった。この鄭氏の抵抗は1683年に鄭克塽が降伏するまで続き、さらに、康熙十二年（1673）に中国で所謂三藩の乱が起こり、鄭氏及び三藩の軍資金になったのは日本貿易を含む貿易活動の利益であったので、鄭氏及び三藩の勢力が強かった時期には鄭氏の船と三藩の船も清朝の船に混じり、長崎に入港した。こうした状況の対応に、日本は貿易に来航する中国船の派遣者は誰であるかを問わずに平等に取り扱い、中国船は清朝政府が派遣した船でも、清朝に対する反乱側の鄭氏と三藩の船でも長崎の入港を許可していた。

江戸時代の日本は唐船の命名に、通常、「南京出し船」、「廣東出し船」という意味で「南京船」、「廣東船」と称したが、場合により、「国姓船」、「錦舎船」などというように、船の派遣者名で命名する場合もあった。明末清初の十七世紀前半より十八世紀前半に至る時期に長崎へ来航した唐船を船名から見れば、その起帆地が中国大陸沿海地区のほぼ全域と東南アジア地域からと広域に及んでいた。江戸時代の前期には地理的に日本に比較的近い江南の南京船、寧波船のみならず、福建省、広東省から出航してきた福州船、泉州船、廈門船、漳州船、台湾船、安海船、潮州船、広東船などがあり、またベトナム、マレー半島、ジャワ、タイなど東南アジア地域から出航した安南、占城、柬埔寨、暹羅、麻六甲、万丹などの名前の船もあった³。江戸時代の後期になると、ほとんどの船は上海に近い浙江省嘉興府平湖縣の乍浦から出港して長崎に来航してきた。しかし日本ではそれが南京船や寧波船などと呼称された⁴。これらの唐船名に示されている中国の地名はこの唐船の起帆地そのものを直接指す場合もあり、起帆地一帯の総括的名称を取った場合もあるので、唐船名は必ずしもその唐船の本籍又は活動根拠を現すものでもない場合もある。

³山脇悌二郎『長崎唐人貿易の研究』吉川弘文館、1952年10月

⁴松浦章『清代海外貿易史の研究』朋友書店、2002年1月。

三、唐船風説書調整手続き

鎖国体制において、江戸時代の唐船貿易は唐船が長崎に入港してから、中国に帰帆するまでの行事は通常決まった手順で進められていた。唐船が長崎に入港する度に、長崎奉行所役人と唐通事が入港船に乗込んで、船頭名、乗組人数、出航地、来日の経歴、航海途上の出来事、出港地付近の特別な情報などを聞き取り、「唐船風説書」を作成していた。

唐船風説書の作製の実際の担当者は唐通事である。唐通事は幕府が長崎で設けた唐船貿易対応のための役職であり、慶長九年（1604）明人馮六に始まるとされる。言葉の通訳が主な職務であるため、唐通事は殆ど唐人、或は唐人の子孫が任命されている。また、唐通事の職務は通訳だけではなく、事務の分掌により、「唐年行司」が唐人の生活管理、唐人同士の間での紛争の処置、「御用通事」が將軍家御用品の注文、調達、「風説定役」が中国の政治の動向、国際情報などを上申した⁵。それで、風説書の作成が中国及び国際情報の上申の一環とし、唐通事の諸業務の中の一つとされていた。

風説書の作成にあたり、唐通事が直接に唐船の乗員船客に接し、風説を聴取するので、中国語で唐人と対談したことは当然である。ところが、唐船の乗員乗客が話す言葉は主にその出身地の方言であるため、その対応に、中国の官話とされる「南京語」の他、福建省方言の「漳州語」及び「福州語」に堪能な者が必要となる。そこで、唐通事は「南京口」、「漳州口」「福州口」に分けられ、それぞれ得意な方言をもって仕事に携わっていた。

唐船入津に際しての風説聴取の時期に関しては、唐船が長崎沖に到着すると、まず港の沖の所定の位置に碇をおろす。そして、長崎奉行所が数十艘の小船を漕ぎ出させ、唐船に挽綱をかけて港内まで引き入れた。時刻が午後四時以前ならば、奉行所の検使が唐通事、唐年行司、宿町、付町乙女と唐船に乗り移り、通事が宗門禁制、キリスト教を禁ずる旨を書いた看板を帆柱にかけ、これを読み聞かせ、ついで乗組人数、出航地などを問い、信牌、積荷目録、乗組員名簿、誓約書などを提出させ、風説の聴取はこの時に行われた⁶。風説書はまず唐通事より草稿的なものを長崎奉行に提出する。奉行はこれを検閲してから、清書に認め提出した。清書された風説書は幕府に上達するもの一通（捺印あり）、次に江戸詰長崎奉行宛の一通（捺印無し）、唐通事控えの一通（捺印無し）というように、通常合計三通が作製されるが、長崎奉行の定員の増減や長崎に関係深い諸侯の要望などの理由により、時々定数以上に作製されることもあった⁷。

唐船風説書が作製される際、題名が付けられる。通常、唐船風説書の題名は唐船名にその年の長崎入港の順番を加え、例えば「壹番南京船」、「拾番寧波船」とし、さらに「唐人一同共に申す」という意味で「唐人共申口」と付ける。現存する記録として、延

⁵山脇悌二郎『長崎唐人貿易の研究』249頁参照。

⁶「唐船入津ヨリ出帆迄行事帳」、片桐一男校訂『鎖国時代対外応接関係史料』、近藤出版社、1972年6月5～9頁参照。

⁷浦廉一「華夷変態解題－唐船風説書の研究－」、『華夷変態』上冊、35頁。

宝二年の「貳番福州出し船の唐人共申口」を始め⁸、その後の風説書の題名が「入港順番」に「唐船名」を加え、最後に「唐人共申口」を付ける形で構成されるものが多い。

例えば「貳拾九番南京船之唐人共申口」、「拾番廈門船之唐人共申口」などというように、唐船風説書の題名を通して唐船の出帆地の地名が見られる。

四、現存する唐船風説書の年代及び数量

唐船風説書に関する研究は浦廉一氏の「唐船風説書の研究」が最も詳しいと思われる。氏の研究に従えば、「現存する唐船風説書は、正保元年（順治元年・1644年）から、享保9年（雍正二年・1724年）に至る81年間にわたって、時にかけている年もあるが、だいたい連続的に約二千三百通が「華夷変態」三十五巻、及び「崎港商説」三巻に収録されている。そして、それ以後のものは、断片的非連続的でその数も僅少である」という⁹。

五、「華夷変態」の諸本及び東洋文庫版の『華夷変態』の出版

1) 「華夷変態」及び「崎港商説」について、

浦廉一氏の研究を通して次の五種の資料が存在していることが分かった¹⁰。

- 1、内閣文庫本華夷変態 三十五巻 写本
- 2、通行本華夷変態 五巻 写本 これには二種類が存する
- 3、島原松平家本華夷変態 三十七巻 写本
- 4、漢譯本華夷変態 不分巻 刊本
- 5、内閣文庫本崎港商説 三巻本及び五巻本がある

以上の五種のほか、国立公文書館内閣文庫の所蔵を調べてみれば、次の二種の「華夷変態」を題にした資料が所蔵されていることが分かった。

- 6、内閣文庫本華夷変態 八十冊 写本
- 7、元外務省蔵（現国立公文書館蔵）華夷変態 47冊 明治抄本

しかし、今回の調査において、調査可能となったのは「内閣文庫本華夷変態三十五巻

⁸唐船風説書として認められる最初のもは『華夷変態』巻一に収録されている「李賊覆史軍門書」「崇禎賓天弘光登位」という漢文体に書かれているものである。延宝二年（1674）に「貳番福州出し船の唐人共申口」という形式上整備化された形態を持つ唐船風説書が初めて現れている。浦廉一「華夷変態解題－唐船風説書の研究－」、『華夷変態』上冊、28頁参照。

⁹ 浦廉一「華夷変態解題－唐船風説書の研究－」、『華夷変態』上冊、43頁

¹⁰ 同上、46頁。

写本」(以下「三十五卷写本」と略す)、「内閣文庫本華夷変態八十冊写本」(以下「八十冊本」と略す)及び元外務省蔵(現国立公文書館蔵)華夷変態47冊明治写本」(以下「明治抄本」と略す)の三種であり、その巻目の対照は次の表1のとおりである。

表1

三十五卷本	八十冊本	四十七冊本	三十五卷本	八十冊本	四十七冊本
一	一之上	一	十五	十五之一	十五乾 十五坤
	一之下			十五之二	
二	二之上	二		十五之三	
	二之下			十五之四	
三	三之上	三	十六	十六之上	十六乾 十六坤
	三之下			十六之中	
四	四	四		十六之下	
五	五之上	五	三十五卷	八十卷	四十七卷
	五之下		十七	十七之一	十七乾 十七坤
六	六	六		十七之二	
七	七之上	七		十七之三	
	七之下			十七之四	
八	八之上	八	十八	十八之上	十八乾 十八坤
	八之下			十八之中	
九	九	九		十八之下	
十	十之上	十乾 十坤	十九	十九之上	十九乾 十九坤
	十之中			十九之中	
	十之下			十九之下	
三十五卷	八十卷	四十七卷	二十	二十之一	二十乾 二十坤
十一	十一之上	十一乾 十一坤		二十之二	
	十一之中			二十之三	
	十一之下			二十之四	
十二	十二之上	十二乾 十二坤	二十一	二十一之上	二十一乾 二十一坤
	十二之中			二十一之中	
	十二之下			二十一之下	
十三	十三之上	十三	二十二	二十二之上	二十二
	十三之下			二十二之中	
十四	十四之上	十四乾 十四坤		二十二之下	
	十四之中		二十三	二十三之上	二十三
	十四之下			二十三之下	

三十五卷本	八十冊本	四十七冊本	三十五卷本	八十冊本	四十七冊本
二十四	二十四之上	二十四乾 二十四坤	二十九	二十九	二九
	二十四之中		三十	三十	三十
	二十四之下		三十一	三十一之上	三十一
二十五	三十一之下				
二十五	二十五之上	二十五	三十二	三十二之上	三十二
	二十五之下			三十二之下	
二十六	二十六之上	二十六	三十三	三十三之上	三十三
	二十六之下			三十三之下	
二十七	二十七之上	二七	三十四	三十四之上	三十四
	二十七之下			三十四之下	
二十八	二十八之上	二八	三十五	三十五止	三十五止
	二十八之下				

ちなみに、国立公文書館所蔵資料を「華夷変態」というキーワードで検索すれば、「邏媽人欵状」という資料も出てくるが、資料確認をしたところ、それは「華夷変態」巻三十三の「異人申口之覚」にあたる部分の写しで、内容がイタリア人に関する記録であり、唐船とは無関係のものだと分かった。

前節で述べたように、唐通事が作成した唐船風説書は長崎奉行を通して幕府に進達され、その内容により、当時の中国の本土の状況、或いは東南アジアの状況が見聞したまま幕府に伝えられた。そして、幕府において、進達されてきた唐船風説書の読み上げ、或いは和訳の作業が進められる。

唐船風説書の和訳などのことに携わっていた幕府の儒者であり、林春斎と林鳳崗が唐船風説書の散佚を恐れ、自分たちが関係処理した正保元年（1644）年から享保二年

（1717）年までの唐船風説書を逐次編纂し、「華夷変態」に収録した。また、享保二年

（1717）から享保七年（1722）までの風説書を「崎港商説」としてまとめて収録した。「華夷変態」編著について、浦廉一氏は「唐船風説書の研究」において次のような見解を述べている。

春斎は正保三年父羅山のあとを襲ぎ、寛文三年弘文学士の号を賜わり、延宝八年子鳳崗に職を譲り、同円五月六十三歳を以て歿しており、そして「華夷変態」の五巻までが第一巻同様に春斎の編著とも考えられる。延宝八年父春斎を襲いだ鳳崗は元禄五年を従五位下大学頭となり、享保五年致仕し、享保十七年五月八十九歳を以て歿しておるから、享保五年を以て終わっている「華夷変態」は鳳崗によって増纂されたものと見る可きである。これを要するに「華夷変態」に採録された事項は、羅山、春斎、鳳崗の林家三代にわたって関係処理されたものであり、その編著はお春斎に始まり鳳崗に至ったものと云う可く、内国お文庫所蔵の林家蔵書印を有する三十五巻版はまさに林家の所有本であり、唐船風説書の収録としては最初のものであると思われる。

一方、「崎港商説」に関しては浦廉一氏は次のように述べている。

この書は「華夷変態」の続編とも見られるビ来もので、享保二年（康熙五十六年）七月から同七年（康熙六十一年）十二月に至る間の唐船風説書を年月の順に収録したものである。

また、「華夷変態」という題名に関しては、編纂者の林春斎は延宝二年（1674）年六月八日日付の序に次のように記している。

崇禎登天、弘光陷虜、唐魯纔保南隅、而韃虜横行中原。是華變於夷之態也。雲茫、不詳其始末。如剿闖小説、中興偉略、明季遺文等概記而已。按朱氏失鹿、當我正保年中。爾來三十年所。福漳商船來往長崎、所傳説、有達江府者。其中聞於公物件、讀進之、和解之。吾家無不與之。其草案留在反古堆。恐其亡失、故敘其次第、錄為冊子、號華夷變態。頃間吳鄭檄各省、有恢復之舉、其勝敗不可知焉。若夫有為夷變於華之態。則縱異方域、不亦快乎¹¹。

この序文から分かるように、本来、明は「華」であり、清は「夷」であるが、明清の政権交代において、明と清の間の権力態勢が変わり、逆に清が「華」に、明が「夷」になった。それに対し、明の後裔の唐王、魯王が再興を図ることはつまり、「夷」になってしまった明が再び本来の「華」の地位に戻ろうとする動きとなる。この冊子の内容は中国の政治態勢が変動している時期に日本に伝わった見聞の記録をまとめたものであるで、その名を「華夷変態」にしたという。

2) 東洋文庫版『華夷変態』

林家が編纂した『華夷変態』三十五卷¹²及び『崎港商説』三卷¹³が1958年に東洋文庫により、「松平家本華夷変態」¹⁴及び「長崎御用留所収唐船風説書」¹⁵と併せて、『華夷変態』という書名で、上、中、下三冊に分けて出版した。東洋文庫版『華夷変態』がその

¹¹『華夷変態』上冊、1頁。

¹²内閣文庫に現存する「華夷変態」は三十五卷三十五冊本、同八十本、及び同四十七冊本（明治写本）の三種があり、その中の三十五冊本は「林氏蔵書」「浅草文庫」の蔵書印を有し、林家が編纂したも原本と思われるという。浦廉一「華夷変態解題－唐船風説書の研究－」、『華夷変態』上冊、46頁参照。

¹³内閣文庫に現存する「崎港商説」は三冊本及び五冊本二種あり、三冊本には「林氏蔵書」及び「浅草文庫」の蔵書印があり、林家が編纂した原本と考えられるという。浦廉一「華夷変態解題－唐船風説書の研究－」、『華夷変態』上冊、64頁参照。

¹⁴島原松平家所蔵「華夷変態」は三十七卷三十七冊である。浦廉一「華夷変態解題－唐船風説書の研究－」、『華夷変態』上冊、56～62頁参照。

¹⁵内閣文庫所蔵「長崎御用留」。

後 1981 年に東方書店から再版され、その際、東洋文庫版では「華夷変態補遺」という題で別冊付録とした「長崎御用留所収唐船風説書」の他、大庭脩が整理した「島原本唐人風説書」及び中村質が整理した山口県文書館所蔵の「明国商船漂着につき船長上申書」、「福州漂流人四十三人求援状」、「漂着船尋問書」、「漂着船尋問書案」も収録されている。これらの資料のうち、「松平家本華夷変態」巻三十七に収録されている唐船風説書の年代は享保七年（1722）から享保九（1724）年までのものであり、また、「島原本唐人風説書」に収録されているのは享保九年（1724）から享保十三（1728）年までの資料である。これで、東方書店版『華夷変態』に収録されている唐船風説書の年代は正保元年（1644）から享保十三年（1728）までの 84 年間に及んでいる。一方、東方書店版『華夷変態』に収録されていない唐船風説書もあるが、数量は僅かであり¹⁶、つまり、現存する唐船風説書の殆どが東洋文庫 1981 年版『華夷変態』に収めてられている。換言すれば、唐船風説書の研究史料として、1981 年版東洋文庫版『華夷変態』が最も史料が揃っているものである。それに、現存する諸本は『漢譯本華夷変態』以外のものはすべて写本であるため、これらの史料を利用する際、変体仮名や手書き筆跡の解読などの利用不便利な問題もあるので、『華夷変態』に関する先行研究は殆ど初版東洋文庫版か 1981 年版『華夷変態』を依拠している。

六、本研究の視点

江戸時代唐船貿易の進行に伴い大勢の中国人が長崎に来航し、彼らは主に唐通事の通訳を通して日本人との意思疎通ができた。唐通事は江戸時代において日本人と中国人の間で言わば言葉の渡り橋のような存在であり、内通事の経験を持った岡島冠山を始め、唐通事が残した資料がある。例えば『華夷変態』は従来の日中交流史研究、日中貿易史研究、岡島冠山の唐話教本などは唐話研究または日中言語交流などの分野においてそれぞれ重要視されてきた。ところが、例えば『華夷変態』のように、唐通事が作成した唐船風説書の資料の収録年数が 80 年以上に跨がり、かつその収録数も約二千三百通にも及ぶ大部の達し資料が存在する。同書は日本語で作成されているため、先行研究においては、専らそれらの情報にのみ焦点が当てられ、資料の言語的要素に対する関心はなかった。しかし、唐通事は現代で言えば二つの言語を母語にもつバイリンガルであり、唐話教本はその語学力の基礎作りに関わるものであれば、『華夷変態』の内容は唐通事の日本語と中国語の両方の能力が総合的に通訳の仕事に生かされた結果だと言える。

『華夷変態』は唐通事が中国語で唐船の乗員から聴取したものを日本語に翻訳したものであり、中国語で語られた内容を日本語に翻訳する際、原語の中国語の要素が時には翻訳者の意識で意図的に、あるいは無意識に翻訳者が翻訳したものに多少残されていても不思議ではない。

『華夷変態』の唐船風説書に見られる漢字の振り仮名は作製当時唐通事が聴取した音声を即時に記録したものであるか、それとも風説書が幕府に進呈され、和訳や読みあげなどの仕事に携わった林家の儒学者が付けくわえたものなのかについては不明である。しかし、当時大学頭の高い地位にいた林家の者がこんなに夥しい数量の資料をいちいち手間をかけて字音注記することはちょっと考え難いところもあるし、また、同一地名で

¹⁶ 松浦章『海外情報から見る東アジア－唐船風説書の世界』7～12 頁参照。清文堂、2009 年 7 月。

も漢字の振り仮名は各風説書において異なっている場合もあることから、その振り仮名は唐通事の手によるものだという可能性が比較的に高いと考えられる。

前節でも述べたように、唐船風説書の研究に当たり、1981年版東洋文庫本『華夷変態』は史料の数が最も揃っていることから、研究資料としての利用度が高い。それに、東洋文庫本『華夷変態』の出版について、同書がその「凡例」に、「本書の原稿は、浦廉一博士が戦前作られた内閣文庫本三十五冊本の寫本をもとにして、十年餘の日を費し、完成されたにびである。原稿の作製は、浦博士の指導の下に、廣島大学の学部・大学院の学生だった中村質・系賀昌昭・神谷剛・吉川専心・中原晃雄諸氏のはじめられ、最後に浦博士・中村氏によって完成された。」と述べている。ここに挙げられた諸氏の名前、また出版に至るまでかかった時間から見ても、東洋文庫本『華夷変態』の原稿内容は精密さ、または正確度の高いものとして信用できる。

ところが、漢字の振り仮名に関しては、同「凡例」は、「原本では、句讀点は朱筆で帆と施されているが、必ずしも正確ではないので、これに従わず編者の判断で附した。また濁点は殆ど附されていないので適宜これを施した。また、漢字のルビも朱筆で施され、訓・音ん・北京音・福建音など、雑多な音によって振仮名されているが、すべて原本の舊に倣った。」と述べてある。つまり、本研究にとって最も肝心になる「字音」に関してはその「適宜」だということが懸念される。とりわけ、所謂「北京音」と「福建音」は現代の中国の北京方言と福建方言の間に、濁音の有無の点に関しては大いに異なっている。そこで、本研究に当たって、まずは東洋文庫本『華夷変態』をその原本である内閣文庫三十五冊本と、特に漢字の振り仮名について両方合わせて検討する必要があると思われる。そのため、本研究はまず史料の確認として、国立公文書館所蔵内閣文庫三十五巻本「華夷変態」と1981年版東洋文庫本『華夷変態』について調査を行った。

七、調査結果

今回の史料調査は主な対象が三十五巻本及び1981年版東洋文庫本『華夷変態』であり、両者を比較検討した結果、約百カ所ぐらい両者が互いにことなっている箇所が見つかり、それを更に分類すれば、次のような分類ができた（詳細は付録Ⅰ-1から付録Ⅰ-6までであり、三十五巻本の頁数は国立公文書館デジタルアーカイブの資料に依拠したものである）。また、1981年版東洋文庫本の内容に見られる地名字音（中国以外の国や地域の地名をも含む）一覧表は付録Ⅱのとおりである（両資料に相異がある場合左は東洋文庫本の振り仮名で、右は三十五巻本の振り仮名）。

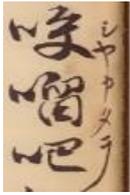
1) 片方の史料のみ振り仮名付の類（付録Ⅰ-1参照）

例：

船名	漢字	35巻本 頁数	35巻本内 容	東洋文庫本内容	東洋文庫本 頁数
六番思明洲	邵武府	5-24	なし	セウフ	0187

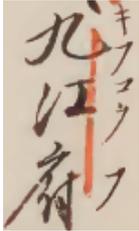
2) 濁音点有無の類 (付録 I-2 参照)

例：

船名	漢字	35 卷本 頁數	35 卷本内容	東洋文庫本内容	東洋文庫本 頁數
六番	咬留吧	2-34		ジャガタラ	0070

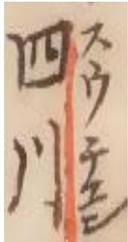
3) 「ウ」か「フ」の類 (付録 I-3 参照)

例：

百七拾九番 南京船	九江府	15-135		キウコウフ	1027
--------------	-----	--------	---	-------	------

4) 「エ」か「エ」の類 (付録 I-4 参照)

例：

船名	漢字	35 卷本 頁數	35 卷本内容	東洋文庫本内容	東洋文庫本 頁數
拾四番 廣東船	四川	2-49		スウチエン	0077

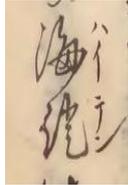
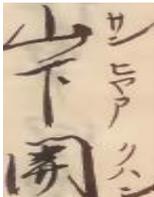
5) 「ク」か「ウ」の類 (付録 I-5 参照)

例 :

船名	漢字	35 卷本 頁數	35 卷本内容	東洋文庫本内容	東洋文庫本 頁數
三番思明洲船	漳州	7-17		チヤウチウ	0291

6) その他の類 (付録 I-6 参照)

例 :

船名	漢字	35 卷本 頁數	35 卷本内容	東洋文庫本内容	東洋文庫本 頁數
八番九番	海澄	2-36		ハイチン	0071
八番九番	山下關	2-37		サンヒヤア クワン	0072

付録 II を見れば分かるように、『華夷変態』に出てきた漢字に振り仮名付の地名の総数は約 1100 ぐらいある。その中の約 100 ぐらいに三十五卷本と東洋文庫本との相異が見られており、一見その割合が十分の一ぐらいまで達し、割合が高いのではないかとと思われるかもしれませんが、更に詳しくその相異した表記を分類して検討すれば、それは濁音点有無、「ウ」か「フ」という「ハ行転呼」現象に関わっているような類及び「エ」か「エ」かという新、旧仮名遣いの書き換えなどのような類のものが多く、言い換えれば、これらの表記の相異は実際の発音の相異からだというより、むしろ歴史仮名遣いの問題と考えたほうがよいのではないかとと思われる。また、「ウ」か「ク」かの類のものに関しては、三十五卷本の場合は毛筆で手書きしたものであり、今回筆者が自らその原本を手にとって仔細に見ても、その筆跡からはそれは「ウ」か「ク」か本当に判断に苦しむものがいくつかあった。これと似たような問題は「チ」と「テ」の識別にも見られ

ているし、前述した第6類の「その他の類」の中でもいくつかこういった問題の語例が見られた。これらの仮名遣い及び識別困難の例を引いたら、原因不明の表記相異の語例の数がかなり減ってくるので、地名の漢字の読みに関しては、内閣文庫三十五巻本と東洋文庫本の間では、研究資料として大いに気にかかるまでの相異はなかったと見てもよいのではないかと思われる。

八、閩南方言に関して

今回の調査において、閩南方言であるかどうかを判断するのに重要な要素である「濁音」に関しては、確かに東洋文庫本のほうが三十五巻本と異なり、三十五巻本には濁音点がついていない語例に対して東洋文庫本では濁音点がついている語例（34例の内30例）はその逆な場合の語例（34例の内4例）より明らかに数のほうが多い、それは東洋文庫本の「凡例」において述べたように、東洋文庫本の編集者が適宜に付け加えたものだと考えられる。それに、この類のものに、30例の中の8例が「盡山」の例であり、両資料の表記の相異は「ジンサン」（三十五巻本）と「ジンザン」（東洋文庫本）の違いで、さらに「九山」の「キフサン」と「キフザン」、「舟山」の「チウサン」と「チウザン」の例を加えると、この類のものはつまり「山」という漢字の読みの相異に関わっているもののほうが多いことが分かる。しかし、「山」を「サン」か「ザン」と発音の違いではそれは閩南方言の発音であるかどうかを判断することはできないので、今回の調査では濁音点の有無の点から『華夷変態』の地名の漢字音から閩南方言との明らかな繋がりを見付けることはできなかった。

九、地名の字音表記の変遷について

『華夷変態』において、中国地名は漢字で記録され、殆どの地名は『華夷変態』の全文を通して最少一回その字音が記録に出ている。『華夷変態』に初めて地名の字音が片仮名で示された例は『華夷変態』巻一の慶安3年（1650）の明の魯王から琉球国王に送った文書の和解に見られる「廣東(カトウ)」の記録であり¹⁷、一番最後に記録されている地名の字音の例は享保9年（1724）の「三拾四番南京船唐人共申口」の「廣東(カトウ)」である¹⁸。この五十年間の記録において、字音が一回、または数回わたり示された中国の地名の数は150以上ある。

ところが、慶安3年（1650）から享保9年（1724）までの間で作成された風説書に見られる中国地名の漢字のそれぞれが字音注記があるのにたいして、その後の風説書、とりわけ元禄11年（1698）から享保元年（1716）までの間の風説書は中国の地名に殆ど字音の注記がない¹⁹。このことから、中国の地名の漢字の側に字音を注記することは唐船風説書制作上の通則ではないことが分かる。しかし、これらの地名の字音注記が現在の

¹⁷『華夷変態』上冊、37頁。

¹⁸『華夷変態』下冊、2993頁。

¹⁹元禄11年（1697）から享保元年（1716）までの記録に字音が注記されるのは次の八つの地名の11例である。「沙呈(サシ)」（元禄12年に一例）、「南澳(ナンオウ)」（元禄13年と元禄16年に一例ずつ）、「祠堂澳(シトウオウ)」（元禄14年と元禄16年に一例ずつ）、「薯塘澳(シトウオウ)」（元禄14年に一例）、「沈家門(シンカモン)」（元禄14年に二例）、「鹿耳門(ロウ)」（元禄16年に一例）、「馬辰(バシ)」（元禄16年に一例）、「浙(セ)」（浙江の浙、元禄16年に一例）。

形に呈するまでの過程について、誰がどのような理由でどのような原則をもって記録したかについては不明である。

前述したように、風説書作成の実際の担当者は唐通事であることから、この字音注記は唐通事の手によるものである可能性が強いと思われるが、風説書を冊子に編纂した林家の者がそれを付け加えたという可能性もないわけではない。しかし、『華夷変態』に収録されている「松平家本華夷変態」の内容を見れば、地名の字音注記の有無に関しては林家が編纂したものとの相違が見当たらないので、この字音注記は林家の者が風説書を扱う時に独自に加えたものではないと考えられる。それで、これらの字音注記はやはり唐通事の手によるものだと考えたほうが適当であろう。

一方、『華夷変態』に見られる中国地名はその字音を変遷の有無から見れば、二回以上字音の記録が見られた地名の場合は、終始字音の変化が見当たらない地名もあれば、年代の推移に伴い字音に変化が見られた地名もある。なお、地名の字音表記の変遷に関しては拙稿「江戸時代前期における中国地名の字音—『華夷変態』を中心に」²⁰においてすでに考察を行った。そのため、詳しくは本稿において繰り返し述べることをしないことにするが、拙稿の結論を簡単にまとめれば、延宝年間の資料と享保年間の資料と比べて、江戸前期における中国の地名の字音の注記は地名の中国語の発音の写実描写から、日本慣用の漢字音の類推へというように転じたことが分かった。

十、おわりに

本稿は『華夷変態』の中国の地名の漢字を手掛かりにし、江戸時代日本に伝わった中国方言がどのような形で日本に残っているかについて考察した。史料の確認に『華夷変態』の内閣文庫三十五巻本と1981年版東洋文庫本を比較検討した。その結果、漢字の振り仮名に関して、両者が異なっている箇所を百カ所を見出したが、その大部分は筆跡で判断困難や、仮名遣いに関わりあるの類のものであるため、地名の字音の考察に関しては東洋文庫本を資料として使用しても特に問題ないと考えられる。

本稿では地名の読みと唐船の船名或いは出帆地の方言との確実なつながりは確認できなかったが、『華夷変態』の地名の字音を調べ通したことで、その中では中国人でもあまり知らない台湾の地名、例えば「雞籠」（現在の基隆地方）を「タカサゴ」²¹及び「ケイラン」²²、「蛤仔難」（現在の宜蘭地方）を「カツヤアラン」を「カツヤアラン」²³と記録しているところは面白い。

なお、『華夷変態』に見られる中国地名の振り仮名は江戸時代当時は拗音や濁音点、半濁音表記が江戸時代においてまだ定着していないので、その研究に歴史仮名遣いの問題がおおいに絡んでくるので、研究の難しさが増してきて、本稿はその解明に力が至らなかったのだが、今回の調査結果をいつか唐音の研究や仮名遣いの研究の分野に生かすことができれば幸いである。

²⁰ 蔡雅芸 「江戸時代前期における中国地名の字音—『華夷変態』を中心に」。アジア文化交流研究、第5号、609-623頁。関西大学、2010年10月。

²¹ 『華夷変態』上冊、46頁。

²² 『華夷変態』上冊、417、436、437頁。

²³ 『華夷変態』中冊、1560頁。

付録 I -1 片方の資料だけ振り仮名付の類

船名	漢字	35 巻 頁數	35 巻内容	活字版内容	活字版 頁數
六番思明洲	邵武府	5-24	なし	セウフ	0187
廿九番普陀山船	潮州府	5-37	チャウチウフウ	なし	0193
四番五番福州船	普陀山	10-15	フダサン	なし	0456
拾貳番福州船	鳳山	10-31	ホウ	なし	0467
壹番南京船	普陀山	11-4	フダ	なし	0544
百三拾八番 咬留吧船	咬留吧	15-57	ジャガタラ	なし	0973
拾七番寧波船	餘姚	16-34	ヨヤウ	なし	1086
四拾八番大泥船	大泥	16-84	タニ	なし	1120
七拾九番大泥船	太泥	23-98	タニ	なし	1838
拾壹番普陀山船	新州	24-16	シンシフ	なん	1858
拾壹番普陀山船	鎮海	24-16	ジンカイ	なし	1858
貳拾貳番南京船	大藍山	34-9	タイランザン	なし	2612

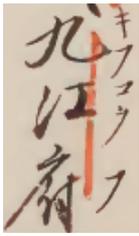
付録 I -2 濁音有無の類

船名	漢字	35 巻 頁數	35 巻内容	活字版内容	活字版 頁數
六番	咬留吧	2-34		ジャガタラ	0070
六番思明洲	邵武府	5-24	セウフ	セウブ	0186
五番廣東船	柬埔寨	9-21	カボウチヤ	カホウチヤ	0422
十七番大泥船	萬安鎮	9-44	バンアンチン	ハンアンチン	0436
七拾三番廣南船	占城	11-100	センシヤウ	センジヤウ	0609

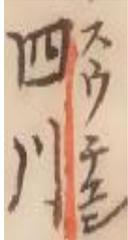
七拾七番柬埔寨	柬埔寨	11-106	カホウシヤ	カボウシヤ	0613
七拾八番廣東船	潮州	11-109	テウジウ	テウシウ	0615
百三拾貳 番廈門船	盡山	13-101	ジンサン	ジンザン	0822
五拾九番福州船	五虎門	14-82	ココモン	ゴココモン	0893
百五拾八番 廈門船	咬留吧	15-94	シヤカタラ	ジヤガタラ	0998
百六十七番 沙埕船	洞庭湖	15-107	トウテイコ	ドウテイコ	1008
五拾九番南京船	杭州	17-105	コウシフ	コウジフ	1237
五拾九番南京船	南濠	17-105	ナンコウ	ナンゴウ	1237
六拾三番台州船	九山	17-113	キフサン	キフザン	1242
九拾番廣南船	舟山	17-188	チウサン	チウザン	1290
貳番寧波船	南濠	18-5	ナンコウ	ナンゴウ	1301
貳拾三番南京船	鞞鞞	18-35	タツタン	ダツタン	1322
八番寧波船	陝西	19-16	センゼイ	センセイ	1414
七拾三番寧波船	陝西	19-135	センゼイ	センセイ	1490
三拾壹番南京船	盡山	20-53	ジンサン	ジンザン	1533
七拾壹番山東船	五台山	20-134	ゴタイサン	ゴダイサン	1583
八番沙埕船	盡山	21-12	ジンサン	ジンザン	1621
貳拾七番廣南船	盡山	21-35	ジンサン	ジンザン	1635
六拾八番大泥船	爪哇	21-115	シヤワ	ジヤワ	1685
薩摩漂着唐人誓詞	膠州	22-19	ケウシフ	ケウジフ	1710

四拾四番漳州船	盡山	22-92	ジンサン	ジンザン	1754
拾七番漳州船	盡山	23-2	ジンサン	ジンザン	1777
五番寧波船	盡山	24-8	ジンサン	ジンザン	1853
拾五番温州船	盡山	24-22	ジンサン	ジンザン	1862
五拾三番寧波船	詞堂澳	28-85	シトウヲウ	シドウヲウ	2230
五拾九番廈門船	馬辰	30-31	ハシン	バシン	2325
百四番柬埔寨船	柬埔寨	33-91	カホウチャ	カボウチャ	2582
貳拾貳番南京船	平望鎮	34-9	ヘイホウチン	ヘイボウチン	2612
漂着之朝鮮人六人之口上書	寧海	34-15	エグバイ	エグハイ	2618

付録 I-3 「ウ」か「フ」の類

船名	漢字	35 卷 頁數	35 卷内容	活字版内容	活字版 頁數
百三拾六番 南京船	黃州府	15-55	ヲウシフフ	ヲウシウフ	0971
百七拾九番 南京船	九江府	15-135		キウコウフ	1027
貳拾番南京船	蘇州	16-41	ソシウ	ソシフ	1091
四番五番南京船	蘇州	17-80	ソシウ	ソシフ	1221
三拾四番福州船	浙江	20-60	セツカフ	セツカウ	1538
七番寧波船	蘇州	22-11	ソシフ	ソシウ	1705

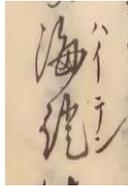
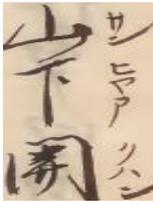
付録 I -4 「エ」か「エ」の類

船名	漢字	35 巻 頁數	35 巻内容	活字版内容	活字版 頁數
拾四番 廣東船	四川	2-49		スウチエン	0077
廿九番 普陀山船	浙江	5-36	チエツキヤン	チエツキヤン	0193
七番廣東船	四川	5-52	スウチエン	スウチエン	0203
拾番 思明洲船	泉州	5-55	ツエンチウ	ツエンチウ	0205
五拾四番 福州船	天津衛	23-58	テンシンエイ	テンシンエイ	1813

付録 I -5 「ク」か「ウ」の類

船名	漢字	35 巻 頁數	35 巻内容	活字版内容	活字版 頁數
三番思明洲船	漳州	7-17		チヤウチウ	0291
拾貳番福州船	漳州	10-31	チヤクチウ	チヤウチウ	0467
七拾貳番 福州船	福州	10-126	ホクチウ	ホウチウ	0527
八拾四番 八拾五番 寧波船	漳州	10-137	チヤグチウ	チヤウチウ	0536
三拾番漳州船	漳州	11-38	チヤクチウ	チヤウチウ	0568

付録 I -6 その他の類

船名	漢字	35 巻 頁數	35 巻内容	活字版内容	活字版 頁數
八番九番	海澄	2-36		ハイチン	0071
八番九番	山下關	2-37		サンヒヤアクワン	0072
十一番	衢州	2-45	キユイフウ	キユイチウ	0075
拾四番廣東船	贛州	2-48	トンチウ	ヒンチウ	0077
拾四番廣東船	温州	2-48	チンチウ	ウンチウ	0078
拾番思明洲 拾壹番東寧 拾貳番東寧	東莞縣	4-31	トンワンヘン	トンワンヒエン	0157
拾番思明洲 拾壹番東寧 拾貳番東寧	泉州	4-31	ツヘンチウ	ツエンチウ	0157
拾番思明洲 拾壹番東寧 拾貳番東寧	江西	4-33	キヤンセイ	キヤンシイ	0158
廿貳番廿三番 廣南船	柬埔寨	4-51	トンボウツアイ	カンボウツアイ	0166
二番南京船	福清縣	5-8	フクケイケン	フクセイケン	0176
二番南京船	興化府	5-7	コウクワフ	カウクワフ	0176
三番思明洲	漳州	5-10	シヤウシュウ	シヤウシウ	0177
六番思明洲	興化府	5-26	コウクハフ	コウクワフ	0187

拾壹番 思明洲船	福州	5-33	ワクシウ	フクシウ	0191
七番廣東船	長徳府	5-52	チャサアフウ	チャトウフウ	0203
拾三番東京船	四川	5-61	スウチエン	スイチエン	0209
壹番普陀山船	湖廣	7-4	フウクワン	フウクハン	0283
拾七番廣東船	紹慶府	7-55	シヤウキインフウ	シヤウチインフウ	0313
九番東寧船	鷄籠	8-45	ケイウン	ケイルン	0374
壹番船阿蘭人 風説書	廣東	9-5	カソトウ	カントウ	0413
四番五番福州 船	福建	10-15	フクケン	フツケン	0456
四番五番 福州船	廣東	10-15	カントウ	カントン	0456
七拾七番 福州船	福州	10-131	フクチウ	ホクチウ	0531
七拾七番 福州船	福建	10-131	フクケン	ホクケン	0531
百貳番廣東船	麻六甲	13-27	マロクカウ	マロクカワ	0775
百三拾貳番 廈門船	浙江	13-102	セツカウ	セツコウ	0822
五拾七番 六崑船	六崑	21-88	ロクコン	ロツコン	1668
薩摩漂着之唐人 共以誓詞申口	松江府	22-19	ジンゴウフ	ズンゴウフ	1710
四拾六番寧波 船	定海關	28-75	ヂヤウカイクハン	ジャウカイクハン	2223
朝鮮人口上書	慶尚	34-15	ケクシヤウ	ケイシヤウ	2618

付録Ⅱ

『華夷変態』にみる中国地名字音一覧表					
地名	読み	日本暦	西暦	長崎来航唐船名	『華夷変態』頁数
九山	キフザン/キフサン	元禄03年	1690	63番台州船	中冊1242頁
九江府	キウコウフ/キフコウフ	貞享05年	1688	179番厦門船	中冊1027頁
三盤	サンバン	貞享05年	1688	80番厦門船	上冊0914頁
上海	ジャウカイ	貞享04年	1687	2番南京船	上冊0657頁
上海	ジャウカイ	貞享04年	1687	4番南京船	上冊0659頁
大怡澳	タイイワウ	天和03年	1683	2番廣東船	上冊0360頁
大禺山	タイグサン	延宝09年	1681	1番東寧船陳檀官申口	上冊0319頁
小西天	シヨウサイテン	貞享04年	1687	54番普陀山船	上冊0713頁
山下關	サンヒヤアクワン/サンヒヤアクハン	延宝02年	1674	8番9番東寧船	上冊0072頁
山西	サンシイ	延宝04年	1676	4番南京船	上冊0148頁
山西	サンシイ	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0150頁
山西	サンシイ	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧船	上冊0158頁
山西	サンセイ	延宝05年	1677	2番南京船	上冊0175頁
山西	サンセイ	貞享05年	1688	89番南京船	中冊0934頁
山西	サンセイ	元禄03年	1690	35番寧波船	中冊1209頁
山西	サンセイ	元禄05年	1692	7番南京船	中冊1413頁
山西	サンセイ	元禄05年	1692	8番寧波船	中冊1414頁
山西	サンセイ	元禄05年	1692	15番寧波船	中冊1426頁
山西	サンセイ	元禄05年	1692	44番寧波船	中冊1454頁
山西	サンセイ	元禄05年	1692	49番寧波船	中冊1458頁
山西	サンセイ	元禄06年	1693	71番山東船	中冊1583頁
山西	サンセイ	元禄08年	1695	37番南京船	中冊1745頁
山西	サンセイ	享保08年	1723	13番寧波船	下冊2976頁
山西省	サンセイセイ	享保03年	1718	33番廣南船	下冊2824頁
山東	サントン	延宝04年	1676	4番南京船	上冊0148頁
山東	サントン	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0150頁
山東	サントン	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧船	上冊0159頁
山東	サントウ	延宝05年	1677	2番南京船	上冊0175頁
山東	サントウ	貞享04年	1687	126番南京船	上冊0813頁
山東	サントウ	貞享04年	1687	135番南京船	上冊0826頁
山東	サントウ	貞享05年	1688	89番南京船	中冊0934頁
山東	サントウ	元禄03年	1690	35番寧波船	中冊1209頁
山東	サントウ	享保03年	1718	26番廣東船	下冊2815頁

山東	サントウ	享保03年	1718	30番寧波船	下冊2820頁
山東	サントウ	享保03年	1718	40番南京船	下冊2831頁
山東	サントウ	享保04年	1719	28番南京船	下冊2851頁
山東	サントウ	享保07年	1722	15番寧波船	下冊2942頁
山東	サントウ	享保07年	1722	17番廣東船	下冊2944頁
五台山	ゴダイサン	元禄06年	1693	71番山東船	中冊1583頁
五虎門	ゴコモン/ココモン	貞享05年	1688	59番福州船	上冊0893頁
五臺山	ゴタイサン	享保03年	1718	33番廣南船	下冊2824頁
天津衛	テンシンエイ	貞享04年	1687	86番福州船	上冊0754頁
天津衛	テンシンエイ/テンシンエイ	元禄09年	1696	31番寧波船	中冊1783頁
天津衛	テンシンエイ	元禄09年	1696	45番普陀山船	中冊1801頁
天津衛	テンシンエイ	元禄09年	1696	54番福州船	中冊1813頁
天津衛	テンシンエイ	元禄09年	1696	65番厦門船	中冊1823頁
天津衛	テンシンエイ	元禄09年	1696	72番南京船	中冊1830頁
乍浦	サホ	元禄05年	1692	49番寧波船	中冊1458頁
乍浦	サホ	享保02年	1717	21番寧波船	下冊2763頁
乍浦	サホ	享保03年	1718	15番寧波船	下冊2797頁
乍浦	サホ	享保03年	1718	16番南京船	下冊2798頁
乍浦	サホ	享保03年	1718	21番南京船	下冊2802頁
乍浦	サホ	享保03年	1718	27番寧波船	下冊2816頁
乍浦	サホ	享保06年	1721	24番南京船	下冊2911頁
乍浦	サホ	享保07年	1722	20番咬留吧船	下冊2947頁
乍浦	サホ	享保08年	1723	26番寧波船	下冊2987頁
北沙	ホクサ	貞享03年	1686	8番南京船	上冊0549頁
北沙	ホクサ	貞享03年	1686	96番南京船	上冊0637頁
北京	フツキン	延宝04年	1676	4番南京船	上冊0148頁
北京	フツキン	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0150頁
北京	フツキン	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧船	上冊0159頁
北京	ホツキン	延宝05年	1677	2番南京船	上冊0175頁
北(京)	ポ	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0197頁
北京	ホツキン	延宝08年	1680	29番福州船	上冊0317頁
北京	ホツキン	延宝08年	1680	28番廣東船	下冊3010頁
北京	ホツキン	延宝09年	1681	6番7番東寧船	上冊0329頁
北京	ホツキン	貞享02年	1685	3番福州船	上冊0454頁
北京	ホクキン	貞享02年	1685	76番南京船	上冊0530頁
北京	ホツキン	貞享02年	1685	77番福州船	上冊0531頁
北京	ホツキン	貞享03年	1686	37番南京船	上冊0571頁
北京	ボツキン	貞享03年	1686	74番泉州船	上冊0611頁
北京	ホクキン	享保03年	1718	38番咬留吧船	下冊2830頁
北京	ホクキン	享保04年	1719	25番寧波船	下冊2848頁

北京	ホクキン	享保05年	1720	5番寧波船	下冊2872頁
北京	ホクキン	享保06年	1721	21番廣東(寧波)船	下冊2907頁
北京	ホクキン	享保07年	1722	1番寧波船	下冊2928頁
北京	ホクキン	享保07年	1722	19番廣東船	下冊2947頁
北京	ホツキン	享保08年	1723	13番寧波船	下冊2976頁
北新港	ホクシンカウ	貞享03年	1686	11番南京船	上冊0551頁
北寮澳	ホクリヤウヲフ	貞享04年	1687	115番大泥船	上冊0798頁
右營	ユウエイ	享保06年	1721	26番臺灣船	下冊2917頁
台州	タイチウ	延宝02年	1674	14番廣東船	上冊0078頁
台州	タイシウ	貞享04年	1687	48番臺灣船	上冊0705頁
台州府	タイチウフウ	延宝04年	1676	4番南京船	上冊0148頁
台州府	タイチウフウ	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0152頁
四川	スウチエン	延宝02年	1674	5番廣東船	上冊0069頁
四川	スウチエン/スウチエン	延宝02年	1674	14番廣東船	上冊0077頁
四川	スウツエン	延宝04年	1676	4番南京船	上冊0148頁
四川	スウチエン	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0150頁
四川	スウチエン	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧	上冊0158頁
四川	スウチエン	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0197頁
四川	スウチエン/スウチエン	延宝06年	1678	7番廣東船	上冊0203頁
四川	スイチエン/スウチエン	延宝06年	1678	13番東京船	上冊0209頁
四川	シセン	延宝08年	1680	29番福州船	上冊0317頁
四川	シセン	延宝08年	1680	1番普陀山船	下冊3001頁
四川	スウチエン	延宝08年	1680	28番廣東船	下冊3011頁
四川	シセン	貞享05年	1688	139番福州船	中冊0980頁
四川	シセン	享保03年	1718	28番寧波船	下冊2817頁
四川	シセン	享保03年	1718	29番廈門船	下冊2818頁
四川	シセン	享保03年	1718	30番寧波船	下冊2820頁
四川	シセン	享保03年	1718	31番南京船	下冊2821頁
四川	シセン	享保04年	1719	25番寧波船	下冊2848頁
四川	シセン	享保05年	1720	9番寧波船	下冊2876頁
四川	シセン	享保07年	1722	17番廣東船	下冊2944頁
四明	シメイ	貞享04年	1687	41番寧波船	上冊0695頁
平望鎮	ヘイボウチン/ヘイホウチン	寶永06年	1709	21番南京船	下冊2612頁
平涼府	ヒンリヤンフウ	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0198頁
永州府	イヨンチフウ	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0197頁
汀州府	チンチウフウ	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0151頁
汀州府	チンチウフウ	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧船	上冊0158頁
汀州府	テイシウフ	延宝05年	1677	3番思明州出シ船	上冊0177頁
汀州府	テイシフフ	延宝05年	1677	6番思明州船	上冊0186頁

甲子所	カツシシヨ	元禄10年	1697	9番泉州船	下冊1856頁
甲子所	カツシシヨ	元禄10年	1697	21番寧波船	下冊1868頁
白華寺	ビヤクケジ	元禄06年	1693	29番普陀山船	中冊1531頁
白華庵	ビヤクケアン	元禄06年	1693	79番普陀山船	中冊1601頁
石梁澳	セキリヤウヲフ	元禄08年	1695	57番台州船	中冊1767頁
吉安府	キアンフウ	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0198頁
同安	トンアン	延宝02年	1674	8番9番東寧船	上冊0071頁
同安縣	トンアンヒエン	延宝02年	1674	11番廣東船	上冊0076頁
安平鎮	アンヘイチン	享保06年	1721	019番南京船	下冊2904頁
安平鎮	アンヘイチン	享保06年	1721	20番寧波船	下冊2905頁
安平鎮	アンヘイチン	享保06年	1721	23番臺灣船	下冊2909頁
安西	アンケイ	元禄06年	1693	79番船唐僧方炳申口	中冊1605頁
安南	アンナン	貞享03年	1686	94番安南船	上冊0634頁
安慶(府)	アンケイ	貞享05年	1688	153番南京船	中冊0993頁
曲阜縣	キョクフケン	元禄07年	1694	51番山東船	中冊1660頁
江西	キヤンスイ	延宝02年	1674	5番廣東船	上冊0069頁
江西	キヤンスイ	延宝02年	1674	14番廣東船	上冊0077頁
江西	キャンシイ	延宝04年	1676	4番南京船	上冊0148頁
江西	キャンシイ	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0150頁
江西	キャンシイ/キャンセイ	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧船	上冊0158頁
江西	キャンシイ	延宝04年	1676	21番廣東船	上冊0165頁
江西	コウセイ	延宝05年	1677	2番南京船	上冊0176頁
江西	キヤンスイ	延宝05年	1677	29番普陀山船	上冊0193頁
江西	キャンシイ	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0198頁
江西	キャンシイ	延宝08年	1680	17番廣東船	上冊0310頁
江西	コウセイ	貞享04年	1687	126番南京船	上冊0813頁
江西(省)	コウセイ	貞享05年	1688	179番南京船	中冊1027頁
江西	カウゼイ	元禄03年	1690	64番山東船	中冊1244頁
江西	カウセイ	元禄10年	1697	35番寧波船	下冊1882頁
江南	コウナン	享保07年	1722	5番寧波船	下冊2932頁
江南	コウナン	享保07年	1722	6番南京船	下冊2933頁
江南	コウナン	享保07年	1722	17番廣東船	下冊2943頁
江南	コウナン	享保07年	1722	26番寧波船	下冊2952頁
舟山	チウサン	貞享02年	1685	3番福州船	上冊0456頁
舟山	チウサン	貞享03年	1686	4番寧波船	上冊0546頁
舟山	チウサン	貞享04年	1687	54番普陀山船	上冊0714頁
舟山	チウサン	貞享05年	1688	66番寧波船	上冊0900頁
舟山	チウザン/チウサン	元禄03年	1690	90番廣南船	中冊1291頁
舟山	チウサン	元禄07年	1694	45番寧波船	中冊1652頁
舟山	チウサン	元禄08年	1695	45番倭留吧船	中冊1755頁

舟山	チウサン	元禄09年	1696	62番舟山船	中冊1819頁
舟山	チウサン	元禄10年	1697	35番寧波船	下冊1881頁
舟山	チウサン	享保03年	1718	39番廣東船	下冊2831頁
舟山	チウサン	享保04年	1719	19番南京船	下冊2847頁
舟山	チウサン	享保04年	1719	30番南京船	下冊2853頁
舟山	チウサン	享保04年	1719	子年1番咬留吧船	下冊2865頁
舟山	チウサン	享保05年	1720	2番南京船	下冊2867頁
舟山	シウサン	享保05年	1720	11番廣東船	下冊2878頁
舟山	シウサン	享保05年	1720	14番寧波船	下冊2880頁
舟山	シウサン	享保05年	1720	17番寧波船	下冊2883頁
舟山	チウサン	享保05年	1720	35番咬留吧船	下冊2897頁
舟山	チウサン	享保07年	1722	17番廣東船	下冊2943頁
西湖	セイコ	元禄08年	1695	9番寧波船	中冊1707頁
西藏	セイザウ	享保05年	1720	9番寧波船	下冊2876頁
西韃	セイダツ	享保05年	1720	2番南京船	下冊2868頁
西韃	セイダツ	享保05年	1720	9番寧波船	下冊2876頁
西韃	セイダツ	享保07年	1722	1番寧波船	下冊2927頁
西韃	セイダツ	享保08年	1723	2番廣東船	下冊2966頁
西韃鞞	ニシダツタン	享保02年	1717	34番南京船	下冊2775頁
吳江縣	ゴコウケン	寶永06年	1709	21番南京船	下冊2612頁
吳松	ウウスン	貞享02年	1685	68番南京船	上冊0524頁
吳松	ゴソウ	貞享02年	1685	74番南京船	上冊0528頁
吳松	ゴソウ	貞享02年	1685	76番南京船	上冊0530頁
吳松	ゴセウ	貞享03年	1686	8番南京船	上冊0550頁
吳松	ゴシヤウ	貞享03年	1686	13番南京船	上冊0553頁
吳松	ゴセウ	貞享03年	1686	19番南京船	上冊0558頁
吳淞	ゴセウ	貞享04年	1687	21番南京船	上冊0675頁
沙埕	サチン	貞享02年	1685	10番廈門船	上冊0464頁
沙埕	サチン	貞享02年	1685	12番福州船	上冊0468頁
沙埕	サチン	貞享04年	1687	118番沙埕船	上冊0803頁
沙埕	サチン	貞享05年	1688	16番寧波船	上冊0853頁
沙埕	サチン	貞享05年	1688	167番沙埕船	中冊1007頁
沙埕	サチン	貞享05年	1688	177番廈門船	中冊1024頁
沙埕	サチン	元禄02年	1689	65番沙埕船	中冊1141頁
沙埕	サチン	元禄02年	1689	75番福州船	中冊1156頁
沙埕	サチン	元禄03年	1690	17番沙埕船	中冊1188頁
沙埕	サチン	元禄06年	1693	24番沙埕船	中冊1525頁
沙埕	サチン	元禄06年	1693	38番沙埕船	中冊1542頁
沙埕	サチン	元禄07年	1694	33番沙埕船	中冊1641頁
沙埕	サチン	元禄09年	1696	36番沙埕船	中冊1788頁

沙埕	サチン	元禄12年	1699	19番沙埕船	下冊2047頁
沈家門	シンカモン	元禄10年	1697	32番漳州船	下冊1879頁
沈家門	シンカモン	元禄14年	1701	23番寧波船	下冊2197頁
沈家門	シンカモン	元禄14年	1701	48番寧波船	下冊2225頁
沈家門	シンカモン	元禄14年	1701	49番寧波船	下冊2226頁
赤仔	チャキヤ	元禄09年	1696	66番寧波船	中冊1830頁
來朝漫	ライテヤウマン	延宝08年	1680	25番東京船	上冊0316頁
兩廣	リヤウクワウ	天和03年	1683	2番廣東船	上冊0359頁
定海	ヂヤウカイ	貞享03年	1686	12番福州船	上冊0552頁
定海	チャウカイ	貞享03年	1686	12番福州船	上冊0552頁
定海	ジヤウカイ	貞享03年	1686	31番漳州船	上冊0568頁
定海	デウカイ	元禄08年	1695	12番福州船	中冊1714頁
定海關	ジヤウカイクハン/ヂヤウ カイクハン	元禄14年	1701	46番寧波船	下冊2223頁
岳州府	ヨチウフウ	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0197頁
岳州府	ガクシフ	貞享05年	1688	153番南京船	中冊0993頁
延平府	エンヘイフ	貞享05年	1688	167番沙埕船	中冊1008頁
招寶山	シヤウホウザン	貞享03年	1686	62番寧波船	上冊0595頁
明朝	ミンチャウ	延宝09年	1681	1番東寧船	上冊0319頁
杭((州)	コウ	貞享02年	1685	14番福州船	上冊0469頁
杭州	コウシウ	貞享02年	1685	1番福州船	上冊0449頁
杭州	コウシフ	貞享04年	1687	60番福州船	上冊0724頁
杭州	コウジフ/コウシフ	元禄03年	1690	59番南京船	中冊1237頁
杭州	カフジフ	元禄07年	1694	60番廣東船	中冊1673頁
杭州	コウシウ	元禄08年	1695	11番廣南船	中冊1714頁
杭州	コフシフ	元禄08年	1695	15番廣南船	中冊1718頁
杭州	カウシウ	元禄09年	1696	58番台州船	中冊1816頁
杭州	コウシウ	元禄09年	1696	72番南京船	中冊1830頁
杭州	コウシウフ	享保06年	1721	22番寧波船	下冊2907頁
杭州(府)	コウシウ	元禄08年	1695	7番寧波船	中冊1705頁
杭州(府)	コウシウ	元禄08年	1695	9番寧波船	中冊1707頁
杭州府	コウシウフ	元禄02年	1689	14番福州船	中冊1083頁
東莞縣	トンワンヒエン/トンワンヘン	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧船	上冊0157頁
東湧	トウヨウ	延宝09年	1681	1番東寧船陳檀官申口	上冊0319頁
東寧	トンニン	延宝03年	1675	28番福州船	上冊0134頁
東寧	トンニン	延宝04年	1676	4番南京船	上冊0148頁
東寧	トンニン	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧船	上冊0157頁
東寧	トンニン	延宝04年	1676	21番廣東船	上冊0165頁
東寧	トウネイ	延宝05年	1677	2番南京船	上冊0176頁
東寧	トンニン	延宝06年	1678	25番福州船	上冊0276頁

東寧	トンニン	延宝06年	1678	26番普陀山船	上冊0278頁
東寧	トンニン	延宝08年	1680	17番廣東船	上冊0313頁
東寧	トウネイ	延宝08年	1680	29番福州船	上冊0317頁
東寧	トンニン	延宝08年	1680	28番廣東船	下冊3010頁
東寧	トウネイ	貞享02年	1685	77番福州船	上冊0531頁
東寧	トウネイ	貞享03年	1686	92番厦門船	上冊0632頁
東關	トウクワン	元禄09年	1696	17番温州船	中冊1778頁
松江府	ズンゴウフ/ジンゴウフ	元禄08年	1695	薩摩漂着之唐人共以誓詞申口	中冊1710頁
武昌府	ブウシャウフ	貞享05年	1688	133番南京船	中冊0967頁
武昌府	ブセウフ	貞享05年	1688	136番南京船	中冊0971頁
武昌府	ブセウフ	貞享05年	1688	143番福州船	中冊0980頁
武昌府	ブシヤウ	貞享05年	1688	169番南京船	中冊1012頁
河南	ハウナン	延宝04年	1676	4番南京船	上冊0148頁
河南	ハウナン	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0150頁
河南	ハウナン	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧船	上冊0159頁
河南	カナン	延宝05年	1677	2番南京船	上冊0175頁
河南	ハウナン	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0197頁
河南	カナン	貞享04年	1687	126番南京船	上冊0813頁
河南	カナン	貞享05年	1688	89番南京船	中冊0934頁
河南	カナン	享保07年	1722	17番廣東船	下冊2944頁
河南	カナン	享保08年	1723	13番寧波船	下冊2976頁
邵武(府)	セウブフ/セウフ	延宝05年	1677	6番思明州船	上冊0186頁
邵武府	シヤウブフ/セウフ	延宝05年	1677	2番南京船	上冊0176頁
邵武府	シヤウブフ	延宝05年	1677	3番思明州出シ船	上冊0177頁
金門鎮	キンモンチン	享保06年	1721	26番臺灣船	下冊2917頁
金陵	キンリヤウ	貞享04年	1687	56番南京船	上冊0716頁
金華	キンハア	延宝02年	1674	14番廣東船	上冊0077頁
金華府	キンハカフウ/キンアカフウ	延宝04年	1676	4番南京船	上冊0148頁
長沙府	チヤンサアフウ	延宝06年	1678	2番普陀山出し	上冊0195頁
長沙府	チヤンサフウ	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0197頁
長沙府	チヤンサアフウ	延宝08年	1680	28番廣東船	下冊3010頁
長徳府	チヤンテフウ	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0197頁
長徳府	チヤントウフウ/チヤサアフウ	延宝06年	1678	7番廣東船	上冊0203頁
前山	ゼンサン	貞享03年	1686	10番福州船	上冊0551頁
南京	ナンキン	延宝04年	1676	4番南京船	上冊0148頁
南京	ナンキン	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0150頁
南京	ナンキン	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧船	上冊0158頁
南京	ナンキン	延宝05年	1677	2番南京船	上冊0175頁
南京	ナンキン	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0197頁
南京	ナンキン	延宝08年	1680	1番普陀山船	下冊3002頁

南京	ナンキン	延宝08年	1680	2番普陀山船	下冊3004頁
南京	ナンキン	貞享02年	1685	3番福州船	上冊0455頁
南昌府	ナンシヤウ	元禄03年	1690	64番山東船	中冊1245頁
南路營	ナンロエイ	享保06年	1721	20番寧波船	下冊2905頁
南窯	ナンヤウ	貞享05年	1688	176番潮州船	中冊1023頁
南澳	ナンヲウ	貞享05年	1688	94番廣東船	中冊0937頁
南澳	ナンヲウ	貞享05年	1688	112番廣東船	中冊0952頁
南澳	ナンヲウ	元禄05年	1692	52番高州船	中冊1462頁
南澳	ナンヲフ	元禄07年	1694	70番高州船	中冊1688頁
南澳	ナンヲウ	元禄13年	1700	51番寧波船	下冊2163頁
南澳	ナンヲウ	元禄16年	1703	59番廈門船	下冊2325頁
南澳	ナンヲウ	宝永02年	1705	87番廣南船	下冊2434頁
南濠	ナンゴウ/ナンコウ	元禄03年	1690	59番南京船	中冊1237頁
南濠	ナンゴウ/ナンコウ	元禄04年	1691	2番寧波船	中冊1300頁
南窑	ナンヨウ	貞享04年	1687	寅之冬船普陀山出し	上冊0655頁
建昌府	ケンシヤウウ	元禄03年	1690	64番山東船	中冊1245頁
建寧府	ケンネイフ	貞享04年	1687	88番福州船	上冊0760頁
建寧(府)	ケンネイ	貞享05年	1688	83番福州船	上冊0917頁
後海	コウカイ	元禄14年	1701	25番寧波船	下冊2199頁
思明州	スウミンチウ	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧船	上冊0157頁
思明州	スウミンチウ	延宝06年	1678	10番思明州船	上冊0204頁
思明州	シメイシウ	延宝07年	1679	4番東寧船	上冊0294頁
思明州	シメイシウ	天和02年	1682	2番廣東船	上冊0346頁
柳州府	リウチウフウ	延宝08年	1680	28番廣東船	下冊3011頁
泉州	チエンチウ	延宝02年	1674	8番9番東寧船	上冊0071頁
泉州	チエンチウ	延宝03年	1675	28番福州船	上冊0134頁
泉州	ツエンチウ	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0151頁
泉州	ツエンチウ/ツヘンチウ	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧船	上冊0157頁
泉州	ツエンチウ/ツエンチウ	延宝06年	1678	10番思明州船	上冊0205頁
泉州	チエンチウ	延宝06年	1678	23番福州船	上冊0275頁
泉州	チエンチウ	延宝06年	1678	26番普陀山船	上冊0278頁
泉州	チエンチウ	延宝07年	1679	1番普陀山船	上冊0283頁
泉州	センシウ	延宝08年	1680	1番普陀山船	下冊3001頁
泉州	センシウ	貞享03年	1686	31番漳州船	上冊0568頁
泉州	センシウ	貞享03年	1686	59番福州船	上冊0592頁
泉州	センシウ	貞享04年	1687	100番福州船	上冊0773頁
泉州	センシフ	元禄03年	1690	8番福州船	中冊1179頁
泉州	センシフ	元禄04年	1691	8番普陀山船	中冊1307頁
泉州	センシウ	享保03年	1718	29番廈門船	下冊2819頁
泉州	センシウ	享保03年	1718	32番寧波船	下冊2823頁

泉州府	センシウフ	延宝05年	1677	3番思明州出シ船	上冊0177頁
流砂(河)	リウサ	貞享04年	1687	56番南京船	上冊0717頁
洞庭湖	トンチンフウ	延宝06年	1678	26番普陀山船	上冊0278頁
洞庭湖	トウテイコ	延宝08年	1680	1番普陀山船	下冊3001頁
洞庭湖	トンチンフウ	延宝08年	1680	2番普陀山船	下冊3003頁
洞庭湖	ドウテイコ/トウテイコ	貞享05年	1688	167番沙埕船	中冊1008頁
眉州	ビシフ	貞享04年	1687	120番南京船	上冊0806頁
胥江	シヨコウ	元禄03年	1690	59番南京船	中冊1238頁
香山澳	ヒヤンサンヤウ	延宝04年	1676	21番廣東船	上冊0166頁
晉江縣	シンコウケン	元禄09年	1696	60番泉州船	中冊1818頁
晉江縣	シンコウケン	元禄10年	1697	24番泉州船	下冊1871頁
海山	カイサン	元禄05年	1692	4番福州船	中冊1410頁
海南	カイン	延宝05年	1677	3番思明州出シ船	上冊0179頁
海南	カイン	元禄10年	1697	21番寧波船	下冊1868頁
海遊	カイユウ	貞享03年	1686	14番寧波船	上冊0554頁
海澄	ハイチン/ハイテン	延宝02年	1674	8番9番東寧船	上冊0071頁
海澄縣	ハイチンヒエン	延宝06年	1678	2番普陀山出し	上冊0195頁
海澄縣	ハイチンヘン	延宝06年	1678	4番東寧船	上冊0199頁
海澄縣	ハイチンヘン	延宝06年	1678	7番廣東船	上冊0203頁
海澄縣	ハイチンヘン	延宝06年	1678	10番思明州船	上冊0204頁
海澄縣	ハイチンヘン	延宝06年	1678	11番東寧船	上冊0207頁
海澄縣	ハイチンヘン	延宝06年	1678	十三日之飛札之寫和	上冊0213頁
海澄縣	ハイチンヒエン	延宝06年	1678	23番福州船	上冊0275頁
海澄縣	ハイチンヘン	延宝06年	1678	25番福州船	上冊0276頁
海澄縣	ハイチンヘン	延宝07年	1679	1番普陀山船	上冊0283頁
海澄縣	カイテウケン	延宝07年	1679	3番思明州船	上冊0291頁
海澄縣	カイチャウケン	延宝07年	1679	16番思明州船	上冊0301頁
海澄縣	カイチャウケン	延宝07年	1679	32番普陀山船	上冊0305頁
海澄縣	カイチフケン	延宝08年	1680	29番福州船	上冊0317頁
海澄縣	ハイチンケン	延寶08年	1680	2番普陀山船	下冊3003頁
海壇	カイダン	貞享03年	1686	35番福州船	上冊0570頁
浙江	チエキヤン	延宝02年	1674	8番9番東寧船	上冊0072頁
浙江	チエキヤン	延宝02年	1674	11番廣東船	上冊0075頁
浙江	チエツキヤン	延宝02年	1674	14番廣東船	上冊0077頁
浙江	チエキヤン	延宝03年	1675	28番福州船	上冊0133頁
浙江	チエキヤン	延宝04年	1676	4番南京船	上冊0148頁
浙江	チエキヤン/チエキエン	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0150頁
浙江	チエキヤン	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧船	上冊0158頁
浙江	チエキヤン	延宝04年	1676	21番廣東船	上冊0165頁
浙江	セツコウ	延宝05年	1677	2番南京船	上冊0175頁

浙江	セツコウ	延宝05年	1677	3番思明州出シ船	上冊0178頁
浙江	チエツキヤン/チエツキヤン	延宝05年	1677	29番普陀山船	上冊0193頁
浙江	チエキヤン	延宝06年	1678	2番普陀山出し	上冊0196頁
浙江	チエツキヤン	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0197頁
浙江	チエキヤン	延宝06年	1678	13番東京船	上冊0209頁
浙江	チヤキヤン	延宝08年	1680	2番普陀山船	下冊3004頁
浙江	セツコウ	貞享02年	1685	1番福州船	上冊0449頁
浙江	セツコウ	貞享02年	1685	3番福州船	上冊0455頁
浙江	セツコウ	貞享02年	1685	72番福州船	上冊0527頁
浙江	セツコウ	貞享02年	1685	84番85番寧波船	上冊0536頁
浙江	セツコウ	貞享03年	1686	10番福州船	上冊0551頁
浙江	セツカウ	貞享03年	1686	12番福州船	上冊0552頁
浙江	セツコウ	貞享03年	1686	14番寧波船	上冊0554頁
浙江	セツコウ	貞享03年	1686	35番福州船	上冊0570頁
浙江	セツコウ	貞享03年	1686	88番泉州船	上冊0623頁
浙江	セツコウ	貞享04年	1687	60番福州船	上冊0724頁
浙江	セツコウ	貞享04年	1687	97番寧波船	上冊0769頁
浙江	セツコウ	貞享04年	1687	118番沙埕船	上冊0804頁
浙江	セツコウ	貞享04年	1687	126番南京船	上冊0814頁
浙江	セツコウ	貞享04年	1687	128番寧波船	上冊0816頁
浙江	セツコウ	貞享04年	1687	131番寧波船	上冊0820頁
浙江	セツコウ/セツカウ	貞享04年	1687	132番廈門船	上冊0822頁
浙江	エツコウ	貞享05年	1688	145番寧波船	中冊0983頁
浙江	セツカフ	元禄02年	1689	2番寧波船	中冊1068頁
浙江	セツコウ	元禄02年	1689	29番南京船	中冊1101頁
浙江	セツカウ	元禄03年	1690	11番福州船	中冊1182頁
浙江	セツコウ	元禄03年	1690	21番寧波船	中冊1191頁
浙江	セツコウ	元禄03年	1690	90番廣南船	中冊1291頁
浙江	セツコウ	元禄04年	1691	2番寧波船	中冊1300頁
浙江	セツコウ	元禄04年	1691	9番温州船	中冊1308頁
浙江	セツコウ	元禄04年	1691	23番南京船	中冊1324頁
浙江	セツコウ	元禄04年	1691	85番温州船	中冊1391頁
浙江	セツコウ	元禄05年	1692	49番寧波船	中冊1458頁
浙江	セツコウ	元禄05年	1692	73番寧波船	中冊1491頁
浙江	セツカウ/セツカフ	元禄06年	1693	34番福州船	中冊1538頁
浙江	セツコウ	元禄07年	1694	35番普陀山船	中冊1643頁
浙江	セツコウ	元禄07年	1694	36番寧波船	中冊1644頁
浙江	セツコウ	享保02年	1717	16番寧波船	下冊2757頁
浙江	セツカウ	享保02年	1717	17番南京船	下冊2759頁
浙江	セツカウ	享保02年	1717	18番寧波船	下冊2759頁

浙江	セツコウ	享保02年	1717	24番寧波船	下冊2765頁
浙江	セツコウ	享保02年	1717	30番寧波船	下冊2772頁
浙江	セツコウ	享保02年	1717	33番南京船	下冊2773頁
浙江	セツコウ	享保03年	1718	4番南京船	下冊2785頁
浙江	セツコウ	享保03年	1718	5番寧波船	下冊2786頁
浙江	セツコウ	享保03年	1718	15番寧波船	下冊2797頁
浙江	セツコウ	享保03年	1718	28番寧波船	下冊2817頁
浙江	セツコウ	享保03年	1718	寧波船	下冊2823頁
浙江	セツコウ	享保03年	1718	36番寧波船	下冊2827頁
浙江	セツコウ	享保03年	1718	咬留吧船	下冊2832頁
浙江	セツコウ	享保04年	1719	2番寧波船	下冊2834頁
浙江	セツコウ	享保04年	1719	8番寧波船	下冊2836頁
浙江	セツコウ	享保04年	1719	11番寧波船	下冊2839頁
浙江	セツコウ	享保04年	1719	13番南京船	下冊2842頁
浙江	セツコウ	享保04年	1719	14番寧波船	下冊2843頁
浙江	セツコウ	享保04年	1719	14番寧波船	下冊2843頁
浙江	セツコウ	享保04年	1719	15番南京船	下冊2844頁
浙江	セツコウ	享保04年	1719	19番南京船	下冊2847頁
浙江	セツコウ	享保04年	1719	25番寧波船	下冊2848頁
浙江	セツコウ	享保04年	1719	36番寧波船	下冊2858頁
浙江	セツコウ	享保05年	1720	2番南京船	下冊2868頁
浙江	セツコウ	享保05年	1720	3番廣東船	下冊2870頁
浙江	セツコウ	享保05年	1720	14番寧波船	下冊2880頁
浙江	セツコウ	享保05年	1720	17番寧波船	下冊2883頁
浙江	セツコウ	享保05年	1720	18番厦門船	下冊2884頁
浙江	セツコウ	享保05年	1720	27番廣南船	下冊2892頁
浙江	セツコウ	享保06年	1721	4番廣東船	下冊2901頁
浙江	セツコウ	享保06年	1721	19番南京船	下冊2904頁
浙江	セツコウ	享保06年	1721	21番廣東(寧波)船	下冊2905頁
浙江	セツコウ	享保06年	1721	22番寧波船	下冊2907頁
浙江	セツコウ	享保06年	1721	30番南京船	下冊2919頁
浙江	セツコウ	享保07年	1722	1番寧波船	下冊2927頁
浙江	セツコウ	享保07年	1722	2番暹邏船	下冊2929頁
浙江	セツコウ	享保07年	1722	5番寧波船	下冊2932頁
浙江	セツコウ	享保07年	1722	6番南京船	下冊2932頁
浙江	セツコウ	享保07年	1722	7番南京船	下冊2933頁
浙江	セツコウ	享保07年	1722	15番寧波船	下冊2941頁
浙江	セツコウ	享保07年	1722	17番廣東船	下冊2943頁
浙江	セツコウ	享保07年	1722	20番咬留吧船	下冊2947頁
浙江	セツコウ	享保08年	1723	3番寧波船	下冊2967頁

浙江	セツコウ	享保08年	1723	6番寧波船	下冊0969頁
浙江	セツコウ	享保08年	1723	11番寧波船	下冊2974頁
浙江	セツコウ	享保08年	1723	13番寧波船	下冊2975頁
浙江	セツコウ	享保08年	1723	22番占城船	下冊2983頁
浙江	セツコウ	享保08年	1723	26番寧波船	下冊2987頁
浙閩	セツミン	享保02年	1717	17番南京船	下冊2759頁
浙閩	セツミン	享保03年	1718	寧波船	下冊2821頁
浙閩	セツミン	享保03年	1718	36番寧波船	下冊2827頁
浙閩	セツミン	享保04年	1719	子年1番咬留吧船	下冊2865頁
浙閩	セツミン	享保05年	1720	7番厦門船	下冊2874頁
浙閩	セツミン	享保06年	1721	21番廣東(寧波)船	下冊2906頁
浙閩	セツミン	享保06年	1721	23番臺灣船	下冊2909頁
浙閩	セツミン	享保06年	1721	24番南京船	下冊2911頁
浙閩	セツミン	享保06年	1721	26番臺灣船	下冊2917頁
浙閩	セツミン	享保06年	1721	29番廣南船	下冊2918頁
浙閩	セツミン	享保07年	1722	8番厦門船	下冊2934頁
浙閩	セツミン	享保07年	1722	10番臺灣船	下冊2937頁
浙閩	セツミン	享保07年	1722	11番南京船	下冊2938頁
浮山	フサン	元禄07年	1694	54番潮州船	中冊1663頁
烏喇	ウラア	貞享05年	1688	154番南京船	中冊0994頁
烏喇	ウラア	貞享05年	1688	168番沙埕船	中冊1009頁
烏龍江	ウリヤウコウ	延宝05年	1677	2番南京船	上冊0176頁
烏猪	ウチヨ	元禄05年	1692	60番高州船	中冊1472頁
狼崎	ロウキ	元禄08年	1695	8番福州船	中冊1705頁
琉球	リウキウ	享保03年	1718	38番咬留吧船	下冊2829頁
琉球	リウキウ	享保05年	1720	5番寧波船	下冊2872頁
琉球國	リウキウクワ	延宝04年	1676	水手花名冊	上冊0162頁
祠堂澳	シドウヲウ	元禄14年	1701	50番寧波船	下冊2227頁
祠堂澳	シドウヲウ	元禄16年	1703	3番寧波船	下冊2303頁
秦(嶼)	シン	貞享04年	1687	68番柬埔寨船	上冊0734頁
荊州府	キンチウフウ	延宝03年	1675	28番福州船	上冊0133頁
荊州府	キンチウフウ	延宝05年	1677	29番普陀山船	上冊0193頁
荊州府	キンチウフウ	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0197頁
荊州府	キンチウフウ	延宝06年	1678	26番普陀山船	上冊0278頁
荊州府	ケイシフフ	貞享05年	1688	153番南京船	中冊0993頁
袁州府	イエンチウフウ	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0198頁
馬辰	バシン/ハシン	元禄16年	1703	59番厦門船	下冊2325頁
馬跡(山)	バセキ	元禄06年	1693	34番福州船	中冊1538頁
馬跡山	バセキサン	元禄06年	1693	29番普陀山船	中冊1531頁
馬跡山	バセキサン	元禄06年	1693	79番普陀山船	中冊1601頁

馬躰山	バセキサン	貞享04年	1687	122番寧波船	上冊0808頁
高平	カウピン	延宝06年	1678	13番東京船	上冊0208頁
高州	カウチウ	延宝06年	1678	2番普陀山出し	上冊0195頁
高州	カウチウ	延宝08年	1680	2番普陀山船	下冊3002頁
高州	コウシフ	貞享04年	1687	105番高州船	上冊0779頁
高州(府)	カウシウ(フ)	貞享04年	1687	44番高州船	上冊0699頁
高州府	カウチウフウ	延宝06年	1678	7番廣東船	上冊0202頁
高州府	カウチウフウ	延宝06年	1678	26番普陀山船	上冊0279頁
陝西	センスイ	延宝02年	1674	5番廣東船	上冊0069頁
陝西	センスイ	延宝02年	1674	14番廣東船	上冊0077頁
陝西	シエンシイ	延宝04年	1676	4番南京船	上冊0148頁
陝西	スエンシイ	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0150頁
陝西	シエンシイ	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧船	上冊0158頁
陝西	センシイ	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0198頁
陝西	センセイ	貞享05年	1688	5番南京船	上冊0840頁
陝西	センゼイ	貞享05年	1688	74番南京船	上冊0907頁
陝西	センセイ	元禄05年	1692	7番南京船	中冊1413頁
陝西	センセイ	元禄05年	1692	8番寧波船	中冊1414頁
陝西	センセイ/センゼイ	元禄05年	1692	15番寧波船	中冊1426頁
陝西	センセイ	元禄05年	1692	44番寧波船	中冊1454頁
陝西	センセイ	元禄05年	1692	49番寧波船	中冊1458頁
陝西	センゼイ	元禄05年	1692	72番南京船	中冊1489頁
陝西	センゼイ/センゼイ	元禄05年	1692	73番寧波船	中冊1491頁
陝西	センゼイ	元禄05年	1692	73番寧波船	中冊1491頁
陝西	センセイ	元禄05年	1692	73番寧波船	中冊1491頁
陝西	センセイ	元禄06年	1693	7番福州船	中冊1506頁
陝西	センセイ	享保03年	1718	27番寧波船	下冊2816頁
陝西	センセイ	享保03年	1718	28番寧波船	下冊2817頁
陝西	センセイ	享保03年	1718	29番厦門船	下冊2818頁
陝西	センセイ	享保03年	1718	30番寧波船	下冊2820頁
陝西	センセイ	享保03年	1718	31番南京船	下冊2821頁
陝西	センセイ	享保05年	1720	9番寧波船	下冊2876頁
陝西	センゼイ	享保06年	1721	1番厦門船	下冊2898頁
陝西	センセイ	享保06年	1721	29番廣南船	下冊2918頁
陝西	センセイ	享保07年	1722	1番寧波船	下冊2927頁
陝西	センゼイ	享保07年	1722	17番廣東船	下冊2944頁
陝西	センサイ	享保08年	1723	2番廣東船	下冊2966頁
崇明	ツウンミン	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0198頁
崇明	ソウメイ	貞享02年	1685	69番南京船	上冊0525頁
崖州	ガイシウ	貞享04年	1687	112番廣東船	上冊0793頁

望閣	バンコウ	元禄02年	1689	51番暹羅船	中冊1125頁
梧州	ウ、チウ	延宝02年	1674	14番廣東船	上冊0077頁
淡水	タンスイ	元禄06年	1693	33番臺灣船	中冊1537頁
淡水	タンスイ	元禄06年	1693	53番臺灣船	中冊1560頁
淨慈(寺)	ジンズ	元禄02年	1689	21番寧波船	中冊1093頁
猛崎	モウキ	元禄08年	1695	6番福州船	中冊1704頁
猛崎	モウキ	元禄08年	1695	12番福州船	中冊1714頁
猛崎	マウキ	元禄09年	1696	32番福州船	中冊0784頁
琅崎	ロウキ	延宝03年	1675	11番咬留吧船	上冊0117頁
紹慶府	シャウチンフウ/シャウキインフウ	延宝08年	1680	17番廣東船	上冊0313頁
處州府	チイチウフウ	延宝04年	1676	4番南京船	上冊0148頁
袞州	エンシフ	元禄05年	1692	67番山東船	中冊1482頁
通州	ツウシウ	貞享02年	1685	80番南京船	上冊0533頁
通州	ツウシウ	貞享03年	1686	8番南京船	上冊0549頁
通州	ツウシウ	貞享03年	1686	11番南京船	上冊0551頁
魚山	ギヨサン	元禄05年	1692	62番六崑船	中冊1474頁
鹿耳門	ロクジモン	元禄16年	1703	53番臺灣船	下冊2318頁
鹿耳門	ロクジモン	享保06年	1721	24番南京船	下冊2911頁
惠州	フィチウフウ	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0150頁
惠州	フィチウフウ	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧船	上冊0157頁
惠州	ケイシウ	享保03年	1718	26番廣東船	下冊2815頁
惠州(府)	ケイシウ(フ)	延宝05年	1677	11番思明州船	上冊0191頁
惠州府	ウツイチウフウ	延宝03年	1675	28番福州船	上冊0134頁
惠州府	フィチウフウ	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0150頁
惠州府	ケイシウフ	延宝05年	1677	3番思明州出シ船	上冊0179頁
揭陽	ケツヤウ	貞享05年	1688	82番廣東船	上冊0915頁
揚子江	ヤンツウキヤン	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0197頁
普陀山	ブウトウサン	延宝05年	1677	29番普陀山船	上冊0193頁
普陀山	フダサン	延宝08年	1680	1番普陀山船	下冊3002頁
普陀山	フダサン	貞享02年	1685	3番福州船	上冊0455頁
普陀山	フダサン	貞享02年	1685	72番福州船	上冊0527頁
普陀山	フダサン	貞享02年	1685	73番福州船	上冊0528頁
普陀山	フダサン	貞享02年	1685	75番福州船	上冊0529頁
普陀山	フダサン	貞享02年	1685	77番福州船	上冊0530頁
普陀(山)	フダ	貞享03年	1686	1番南京船	上冊0544頁
普陀山	フダサン	貞享03年	1686	88番泉州船	上冊0623頁
普陀山	フダサン	享保03年	1718	14番廣東船	下冊2796頁
普陀(山)	フタ	享保03年	1718	15番寧波船	下冊2797頁
普陀山	フダサン	享保03年	1718	咬留吧船	下冊2810頁
普陀山	フダサン	享保03年	1718	26番廣東船	下冊2814頁

普陀山	フダサン	享保04年	1719	15番南京船	下冊2844頁
普陀山	フダサン	享保04年	1719	32番臺灣船	下冊2854頁
普陀山	フダサン	享保04年	1719	子年1番咬留吧船	下冊2865頁
普陀山	フダサン	享保05年	1720	臺灣船	下冊2868頁
普陀山	フダサン	享保05年	1720	3番廣東船	下冊2870頁
普陀山	フダサン	享保05年	1720	15番南京船	下冊2881頁
普陀山	フダサン	享保05年	1720	19番廈門船	下冊2885頁
普陀山	フダサン	享保07年	1722	20番咬留吧船	下冊2948頁
普陀山	フダサン	享保07年	1722	27番寧波船	下冊2953頁
普陀山	フダサン	享保07年	1722	27番寧波船	下冊2954頁
普陀山	フダサン	享保07年	1722	29番南京船	下冊2955頁
普陀山	フダサン	享保08年	1723	24番臺灣船	下冊2985頁
普陀(山)	フダ	享保08年	1723	26番寧波船	下冊2988頁
普陀洛	フダラク	貞享04年	1687	54番普陀山船	上冊0713頁
湖(州)	コ	元禄09年	1696	62番舟山船	中冊1820頁
湖州	コシフ	元禄06年	1693	38番沙埕船	中冊1542頁
湖州	コシフ	元禄08年	1695	25番寧波船	中冊1729頁
湖州	コシフ	元禄08年	1695	34番南京船	中冊1742頁
湖州	コシウ	元禄09年	1696	46番普陀山船	中冊1802頁
湖州	コシウ	元禄09年	1696	58番台州船	中冊1816頁
湖州	コシウ	元禄09年	1696	72番南京船	中冊1830頁
湖廣	フウクワン	延宝02年	1674	5番廣東船	上冊0069頁
湖廣	フウクワン	延宝02年	1674	14番廣東船	上冊0077頁
湖廣	フウクワン	延宝03年	1675	28番福州船	上冊0133頁
湖廣	フウクワン	延宝04年	1676	4番南京船	上冊0148頁
湖廣	フウクワン	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0150頁
湖廣	フウクワン	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧船	上冊0158頁
湖廣	フウクワン	延宝04年	1676	21番廣東船	上冊0165頁
湖廣	コクワウ	延宝05年	1677	2番南京船	上冊0176頁
湖廣	フウクワン	延宝05年	1677	29番普陀山船	上冊0193頁
湖廣	フウクワン	延宝06年	1678	2番普陀山出し	上冊0195頁
湖廣	フウクワン	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0197頁
湖廣	フウクワン	延宝06年	1678	4番東寧船	上冊0201頁
湖廣	フウクワン	延宝06年	1678	7番廣東船	上冊0203頁
湖廣	フウクワン	延宝06年	1678	10番思明州船	上冊0206頁
湖廣	フウクワン	延宝06年	1678	23番福州船	上冊0275頁
湖廣	フウクワン	延宝06年	1678	26番普陀山船	上冊0278頁
湖廣	フウクワン/フウクワン	延宝07年	1679	1番普陀山船	上冊0283頁
湖廣	コクワウ	延宝08年	1680	1番普陀山船	下冊3001頁
湖廣	フウクワン	延宝08年	1680	2番普陀山船	下冊3003頁

湖廣	フウクワン	延宝08年	1680	28番廣東船	下冊3010頁
湖廣	コクヲフ	貞享05年	1688	135番普陀山船	中冊0970頁
湖廣	コクハウ	貞享05年	1688	139番福州船	中冊0974頁
湖廣	コクワウ	貞享05年	1688	140番福州船	中冊0978頁
湖廣	コクヲフ	貞享05年	1688	147番廣東船	中冊0986頁
湖廣	コクヲフ	貞享05年	1688	148番廈門船	中冊0986頁
湖廣	コクヲフ	貞享05年	1688	151番廣東船	中冊0990頁
湖廣	コクワウ	貞享05年	1688	157番南京船	中冊0998頁
湖廣	コクヲフ	貞享05年	1688	167番沙埕船	中冊1007頁
湖廣	コクワウ	貞享05年	1688	186番廣南船	中冊1049頁
湖廣	コクヲフ	元禄06年	1693	43番寧波船	中冊1548頁
湖廣	コクヲフ	元禄07年	1694	55番漳州船	中冊1666頁
湖廣	コクワウ	享保03年	1718	26番廣東船	下冊2815頁
湄(州)	ビ	享保05年	1720	9番寧波船	下冊2876頁
湄州	ビシウ	享保04年	1719	子年001番咬留吧船	下冊2865頁
湄州	ビシウ	享保05年	1720	7番廈門船	下冊2874頁
程郷	チンヒアン	延宝02年	1674	14番廣東船	上冊0077頁
蛤仔難	カツヤアラン	元禄06年	1693	53番臺灣船	中冊1560頁
貴州	クイチウ	延宝02年	1674	5番廣東船	上冊0069頁
貴州	クイチウ	延宝02年	1674	14番廣東船	上冊0077頁
貴州	クイチウ	延宝04年	1676	4番南京船	上冊0148頁
貴州	クイチウ	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0150頁
貴州	クイチウ	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧船	上冊0158頁
貴州	クイチウ	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0197頁
貴州	クイチウ	延宝06年	1678	7番廣東船	上冊0203頁
貴州	クイチウ	延宝06年	1678	13番東京船	上冊0209頁
貴州	キシウ	延宝08年	1680	29番福州船	上冊0317頁
貴州	キシウ	延宝08年	1680	1番普陀山船	下冊3001頁
貴州	クイチウ	延宝08年	1680	28番廣東船	下冊3011頁
貴州	キシウ	貞享05年	1688	139番福州船	中冊0980頁
貴州	キシウ	元禄09年	1696	19番寧波船	中冊1779頁
貴州	キシウ	元禄10年	1697	21番寧波船	下冊1868頁
貴州	キシウ	享保03年	1718	28番寧波船	下冊2817頁
貴州	キシウ	享保03年	1718	29番廈門船	下冊2818頁
貴州	キシウ	享保03年	1718	30番寧波船	下冊0820頁
貴州	キシウ	享保03年	1718	31番南京船	下冊2821頁
鄂多里	ガクタリ	享保03年	1718	29番廈門船	下冊2818頁
雲南	イエンナン	延宝02年	1674	5番廣東船	上冊0069頁
雲南	イユンナン	延宝02年	1674	14番廣東船	上冊0077頁
雲南	インナン	延宝04年	1676	4番南京船	上冊0148頁

雲南	インナン	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0150頁
雲南	インナン	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧	上冊0158頁
雲南	イユンナン	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0197頁
雲南	インナン	延宝06年	1678	7番廣東船	上冊0203頁
雲南	インナン	延宝06年	1678	13番東京船	上冊0209頁
雲南	ウンナン	延宝08年	1680	29番福州船	上冊0317頁
雲南	ウンナン	延宝08年	1680	1番普陀山船	下冊3001頁
雲南	イエンナン	延宝08年	1680	2番普陀山船	下冊3003頁
雲南	インナン	延宝08年	1680	28番廣東船	下冊3011頁
雲南	ウンナン	貞享05年	1688	139番福州船	中冊0980頁
雲南	ウンナン	元禄03年	1690	21番寧波船	中冊1192頁
雲南	ウンナン	元禄05年	1692	49番寧波船	中冊1458頁
雲南	ウンナン	元禄09年	1696	19番寧波船	中冊1779頁
雲南	ウンナン	元禄10年	1697	21番寧波船	下冊1868頁
雲南	ウンナン	享保04年	1719	25番寧波船	下冊2848頁
雲南	ウンナン	延宝07年	1679	16番思明州船	上冊0302頁
順徳府	ジュントクフ	元禄03年	1690	85番廣東船	中冊1281頁
黃州府	ヲフシフフ	貞享05年	1688	133番南京船	中冊0967頁
黃州府	ヲウシフフ	貞享05年	1688	136番南京船	中冊0971頁
黃州府	オフシフフ	貞享05年	1688	153番南京船	中冊0993頁
黃河	クハウガ	貞享04年	1687	56番南京船	上冊0717頁
黃河	ヲウガ	元禄03年	1690	84番暹羅船	中冊1280頁
黃河	クワウガ	元禄12年	1699	21番普陀山船	下冊2049頁
黃浦口	ヲウホコウ	貞享05年	1688	漂着之日本人送り	上冊0919頁
黃龍山	ハンロンサン	延宝06年	1678	26番普陀山船	上冊0278頁
勤縣	キンケン	貞享03年	1686	26番寧波船	上冊0564頁
圓穆(山)	エンボク	元禄02年	1689	20番南京船	中冊1091頁
塘西	トフセイ	元禄07年	1694	60番廣東船	中冊1673頁
廉州	テンチウ	延宝06年	1678	2番普陀山出し	上冊0195頁
廉州府	レンチウフウ	延宝06年	1678	26番普陀山船	上冊0279頁
慈國寺	ジコクジ	享保07年	1722	1番寧波船	下冊2927
新(州)	シン	元禄10年	1697	11番普陀山船	下冊1858頁
會安	クワイアン	元禄06年	1693	75番暹羅船其廣南人共申口	中冊1591頁
會稽(山)	クワイケイ	元禄02年	1689	20番南京船	中冊1091頁
温州	ウンチウ/チンチウ	延宝02年	1674	14番廣東船	上冊0078頁
温州	ウンチウ	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧	上冊0158頁
温州	ウンチウ	貞享02年	1685	75番福州船	上冊0529頁
温州	ウンチフ	貞享04年	1687	42番温州船	上冊0697頁
温州	ウンシウ	貞享05年	1688	132番廣東船	中冊0966頁
温州	ヲンシフ	元禄04年	1691	9番温州船	中冊1308頁

温州	ウンシウ	元禄04年	1691	85番温州船	中冊1390頁
温州	ウンシウ	享保03年	1718	咬留吧船	下冊2810頁
温州	ウンジウ	享保03年	1718	咬留吧船	下冊2832頁
温州	ウンシウ	享保05年	1720	3番廣東船	下冊2870頁
温州	ウンシウ	享保06年	1721	4番廣東船	下冊2901頁
温州	ウンシウ	享保06年	1721	30番南京船	下冊2919頁
温州	ウンシウ	享保07年	1722	2番暹羅船	下冊2929頁
温州府	ウンチウフウ	延宝04年	1676	4番南京船	上冊0148頁
温州府	ウンチウフウ	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0152頁
萬州	バンシウ	貞享04年	1687	112番廣東船	上冊0793頁
詹州	タンシウ	貞享04年	1687	112番廣東船	上冊0793頁
雷州	ルイチウ	延宝06年	1678	2番普陀山出し	上冊0195頁
雷州府	ルイチウフウ	延宝06年	1678	26番普陀山船	上冊0279頁
鼓山	クサン	享保07年	1722	1番寧波船	下冊2927頁
嘉興	カコウ	元禄09年	1696	58番台州船	中冊1816頁
嘉興	カコウ	元禄09年	1696	72番南京船	中冊1830頁
寧波	ネイハ	貞享04年	1687	120番南京船	上冊0806頁
寧波(府)	ネイハフ	貞享02年	1685	84番85番寧波船	上冊0536頁
寧波府	ニンボウフウ	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0152頁
寧波府	ネイハ	貞享02年	1685	11番普陀山船	上冊0465頁
寧波府	ネイハフ	貞享03年	1686	37番南京船	上冊0571頁
寧波府	ネイハフ	貞享03年	1686	88番泉州船	上冊0623頁
寧海	エグハイ/エグバイ	宝永06年	1709	漂着之朝鮮人六人之口上書	下冊2618頁
寧國縣	ネイコクケン	貞享03年	1686	30番寧波船	上冊0567頁
旗頭	キトウ	元禄09年	1696	78番普陀山船	中冊1837頁
漳州	チヤンチウ	延宝02年	1674	8番9番東寧船	上冊0071頁
漳州	チヤンチウ	延宝03年	1675	28番福州船	上冊0134頁
漳州	チヤンチウ	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0151頁
漳州	チヤンチウ	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧船	上冊0157頁
漳州	チヤンチウ	延宝06年	1678	2番普陀山出し	上冊0195頁
漳州	チヤンチウ	延宝06年	1678	4番東寧船	上冊0199頁
漳州	チヤンチウ	延宝06年	1678	7番廣東船	上冊0203頁
漳州	チヤンチウ	延宝06年	1678	10番思明州船	上冊0204頁
漳州	チヤンチウ	延宝06年	1678	23番福州船	上冊0275頁
漳州	チヤンチウ	延宝06年	1678	25番福州船	上冊0276頁
漳州	チヤンチウ	延宝07年	1679	1番普陀山船	上冊0283頁
漳州	チヤウチウ/チヤクチウ	延宝07年	1679	3番思明州船	上冊0291頁
漳州	チヤンチウ	延宝08年	1680	29番福州船	上冊0317頁
漳州	チヤクチウ	延寶08年	1680	1番普陀山船	下冊3001頁
漳州	チヤンチウ	延寶08年	1680	2番普陀山船	下冊3002頁

漳州	チヤウチウ	天和03年	1683	12番東寧船	上冊0382頁
漳州	チヤグチウ	天和03年	1683	21番東寧船	上冊0402頁
漳州	チヤウチウ/チヤクチウ	貞享02年	1685	12番福州船	上冊0467頁
漳州	チヤウチウ/チヤグチウ	貞享02年	1685	84番85番寧波船	上冊0536頁
漳州	チヤウチウ/チヤクチウ	貞享03年	1686	31番漳州船	上冊0568頁
漳州	チヤグチウ	貞享03年	1686	59番福州船	上冊0592頁
漳州	チヤクチウ	貞享04年	1687	5番寧波船	上冊0660頁
漳州	チヤクシウ	貞享04年	1687	100番福州船	上冊0773頁
漳州	チヤクチウ	貞享05年	1688	3番寧波船	上冊0838頁
漳州	チヤクチウ	貞享05年	1688	160番漳州船	中冊1000頁
漳州	チヤグチウ	元禄03年	1690	8番福州船	中冊1179頁
漳州	チヤグチフ	元禄04年	1691	8番普陀山船	中冊1307頁
漳州	チヤクシウ	享保03年	1718	29番厦門船	下冊2819頁
漳州	チヤクチウ	享保03年	1718	32番寧波船	下冊2823頁
漳州	チヤグチウ	享保03年	1718	咬留吧船	下冊2833頁
漳州	チヤクチウ	享保06年	1721	24番南京船	下冊2911頁
漳州府	シヤウシユウフ/シヤウシユウ	延宝05年	1677	3番思明州出シ船	上冊0177頁
漳州府	チヤンチウフウ	延宝05年	1677	29番普陀山船	上冊0193頁
漢中府	ハンチヨンフウ	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0198頁
漢陽府	カンヤウフ	貞享05年	1688	133番南京船	中冊0967頁
漢陽府	カンヤウフ	貞享05年	1688	136番南京船	中冊0971頁
漢陽府	カンヤウフ	貞享05年	1688	153番南京船	中冊0993頁
滿州	マンシウ	貞享04年	1687	23番寧波船	上冊0679頁
滿州	マンシフ	貞享04年	1687	56番南京船	上冊0717頁
滿州	マンシウ	享保04年	1719	15番南京船	下冊2844頁
滿州	マンシウ	享保05年	1720	9番寧波船	下冊2876頁
滿州	マンシウ	享保06年	1721	29番廣南船	下冊2918頁
盡山	ジンサン	貞享04年	1687	120番南京船	上冊0806頁
盡山	ジンザン/ジンサン	貞享04年	1687	132番厦門船	上冊0822頁
盡山	ジンサン	元禄06年	1693	15番福州船	中冊1514頁
盡山	ジンサン	元禄06年	1693	16番寧波船	中冊1515頁
盡山	ジンサン	元禄06年	1693	17番廣南船	中冊1516頁
盡山	ジンサン	元禄06年	1693	19番廣南船	中冊1519頁
盡山	ジンザン/ジンサン	元禄06年	1693	31番南京船	中冊1533頁
盡山	ジンサン	元禄06年	1693	52番寧波船	中冊1558頁
盡山	ジンザン	元禄07年	1694	4番温州船	中冊1618頁
盡山	ジンザン/ジンサン	元禄07年	1694	8番沙埕船	中冊1621頁
盡山	ジンサン	元禄07年	1694	13番寧波船	中冊1625頁
盡山	ジンザン/ジンサン	元禄07年	1694	27番廣南船	中冊1635頁
盡山	ジンザン	元禄08年	1695	5番寧波船	中冊1702頁

盡山	ジンザン	元禄08年	1695	9番寧波船	中冊1706頁
盡山	ジンザン	元禄08年	1695	44番漳州船	中冊1754頁
盡山	ジンサン	元禄08年	1695	60番寧波船	中冊1770頁
盡山	ジンザン/ジンサン	元禄09年	1696	17番漳州船	中冊1777頁
盡山	ジンザン	元禄10年	1697	5番寧波船	下冊1853頁
盡山	ジンザン/ジンサン	元禄10年	1697	15番温州船	下冊1862頁
盡山	ジンザン	享保02年	1717	37番臺灣船	下冊2778頁
盡山	ジンザン	享保03年	1718	咬留吧船	下冊2810頁
磁澳	ジヲフ	貞享05年	1688	82番廣東船	上冊0915頁
碓石衛	ケツセキエイ	元禄06年	1693	65番廣南船	中冊1574頁
碓石衛	カツセキエイ	享保02年	1717	15番厦門船	下冊2757頁
福州	ホクチウ	延宝02年	1674	5番廣東船	上冊0068頁
福州	フチウ	延宝02年	1674	8番9番東寧船	上冊0071頁
福州	フツチウ	延宝03年	1675	28番福州船	上冊0133頁
福州	フツチウ	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0152頁
福州	フツチウ	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧船	上冊0158頁
福州	フウチウ	延宝04年	1676	21番廣東船	上冊0165頁
福州	ホクチウ	延宝05年	1677	2番南京船	上冊0176頁
福州	フクシウ/ワクシウ	延宝05年	1677	11番思明州船	上冊0191頁
福州	フチウ	延宝05年	1677	29番普陀山船	上冊0193頁
福州	フチウ	延宝06年	1678	7番廣東船	上冊0203頁
福州	フチウ	延宝06年	1678	10番思明州船	上冊0205頁
福州	フウチウ	延宝06年	1678	25番福州船	上冊0276頁
福州	フチウ	延宝06年	1678	26番普陀山船	上冊0278頁
福州	フチウ	延宝07年	1679	3番思明州船	上冊0291頁
福州	フツチウ	延宝08年	1680	17番廣東船	上冊0313頁
福州	ホクチウ	延宝08年	1680	29番福州船	上冊0317頁
福州	ホウチウ/ホクチウ	貞享02年	1685	72番福州船	上冊0527頁
福州	ホクチウ	貞享02年	1685	72番福州船	上冊0527頁
福州	ホクチウ	貞享02年	1685	73番福州船	上冊0528頁
福州	ホクチウ	貞享02年	1685	75番福州船	上冊0529頁
福州	ホクチウ。	貞享02年	1685	77番福州船	上冊0531頁
福州	ホクチウ/フクチウ	貞享02年	1685	77番福州船	上冊0531頁
福州	ホクチウ	貞享02年	1685	79番南京船	上冊0533頁
福州	ホクチウ	貞享03年	1686	12番福州船	上冊0552頁
福州	ホクチウ	貞享03年	1686	16番福州船	上冊0555頁
福州	ホクチウ	貞享03年	1686	63番咬留吧船	上冊0597頁
福州	ホクシウ	貞享03年	1686	94番安南船	上冊0635頁
福州	ホクチウ	享保04年	1719	26暹羅番船	下冊2849頁
福州	ホクチウ	享保04年	1719	30番南京船	下冊2853頁

福州	ホクチウ	享保04年	1719	34番厦門船	下冊2856頁
福州	ホクチウ	享保04年	1719	子年1番咬留吧船	下冊2865頁
福州	ホクチウ	享保06年	1721	3番廣南船	下冊2900頁
福州	ホクチウ	享保06年	1721	21番廣東(寧波)船	下冊2907頁
福州	フクシウ	享保06年	1721	23番臺灣船	下冊2909頁
福州	フクシウ	享保07年	1722	1番寧波船	下冊2927頁
福建	フケン	延宝02年	1674	5番廣東船	上冊0069頁
福建	フケン	延宝02年	1674	5番廣東船	上冊0069頁
福建	フキエン	延宝02年	1674	8番9番東寧船	上冊0071頁
福建	フケン	延宝02年	1674	14番廣東船	上冊0077頁
福建	フウキエン	延宝04年	1676	4番南京船	上冊0148頁
福建	フツキエン	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0150頁
福建	フツキエン	延宝04年	1676	水手花名冊	上冊0162頁
福建	フクケン	延宝05年	1677	2番南京船	上冊0176頁
福建	フケン	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0198頁
福建	フケン	延宝06年	1678	7番廣東船	上冊0203頁
福建	フツケン	貞享02年	1685	3番福州船	上冊0455頁
福建	フツケン/フクケン	貞享02年	1685	4番5番福州船	上冊0456頁
福建	ホクケン/フクケン	貞享02年	1685	77番福州船	上冊0531頁
福建	フクケン	貞享02年	1685	77番福州船	上冊0531頁
福建	フクケン	貞享03年	1686	31番漳州船	上冊0568頁
福建	フクケン	貞享03年	1686	35番福州船	上冊0570頁
福建	フクケン	貞享03年	1686	73番廣南船	上冊0610頁
福建	フクケン	貞享03年	1686	75番潮州船	上冊0612頁
福建	フクケン	貞享03年	1686	76番廣南船	上冊0613頁
福建	フクケン	貞享03年	1686	77番柬埔寨船	上冊0613頁
福建	フクケン	貞享04年	1687	105番高州船	上冊0780頁
福建	フクケン	貞享04年	1687	120番南京船	上冊0806頁
福建	フクケン	貞享04年	1687	126番南京船	上冊0814頁
福建	フクケン	貞享04年	1687	132番厦門船	上冊0822頁
福建	フクケン	貞享05年	1688	83番福州船	上冊0917頁
福建	フクケン	元禄06年	1693	43番寧波船	中冊1548頁
福建	フクケン	享保03年	1718	6番厦門船	下冊2787頁
福建	フクケン	享保03年	1718	咬留吧船	下冊2810頁
福建	フクケン	享保03年	1718	29番厦門船	下冊2819頁
福建	フクケン	享保03年	1718	32番寧波船	下冊2823頁
福建	フクケン	享保03年	1718	咬留吧船	下冊2833頁
福建	フクケン	享保04年	1719	13番南京船	下冊2842頁
福建	フクケン	享保04年	1719	14番寧波船	下冊2843頁
福建	フクケン	享保04年	1719	15番南京船	下冊2844頁

福建	フクケン	享保04年	1719	25番寧波船	下冊2848頁
福建	フクケン	享保04年	1719	32番臺灣船	下冊2854頁
福建	フクケン	享保04年	1719	子年001番咬留吧船	下冊2865頁
福建	フクケン	享保05年	1720	臺灣船	下冊2868頁
福建	フクケン	享保05年	1720	7番廈門船	下冊2873頁
福建	フクケン	享保05年	1720	16番南京船	下冊2883頁
福建	フクケン	享保05年	1720	19番廈門船	下冊2884頁
福建	フクケン	享保06年	1721	17番寧波船	下冊2902頁
福建	フクケン	享保06年	1721	19番南京船	下冊2904頁
福建	フクケン	享保06年	1721	20番寧波船	下冊2905頁
福建	フクケン	享保06年	1721	21番廣東(寧波)船	下冊2905頁
福建	フクケン	享保06年	1721	22番寧波船	下冊2908頁
福建	フクケン	享保06年	1721	23番臺灣船	下冊2908頁
福建	フクケン	享保06年	1721	24番南京船	下冊2911頁
福建	フクケン	享保06年	1721	26番臺灣船	下冊2917頁
福清縣	フクセイケン/フクケイケン	延宝05年	1677	2番南京船	上冊0176頁
福寧(州)	フクネイ	貞享03年	1686	35番福州船	上冊0570頁
福寧州	フクネイシウ	享保07年	1722	1番寧波船	下冊2927頁
肇慶	チャウキン	延宝02年	1674	14番廣東船	上冊0077頁
肇慶府	チャウキンフウ	延宝06年	1678	7番廣東船	上冊0203頁
肇慶府	チャウキンフウ	延宝06年	1678	10番思明州船	上冊0206頁
臺灣	タイ	貞享04年	1687	30番臺灣船	上冊0689頁
臺灣	タイワン	貞享05年	1688	55番廈門船	上冊0889頁
臺灣	タイワン	元禄02年	1689	39番南京船	中冊1110頁
臺灣	タイワン	元禄02年	1689	69番廣南船	中冊1148頁
臺灣	タイワン	元禄03年	1690	75番柬埔寨船	中冊1265頁
臺灣	タイワン	元禄04年	1691	46番廈門船	中冊1349頁
臺灣	タイワン	元禄06年	1693	33番臺灣船	中冊1536頁
臺灣	タイワン	元禄08年	1695	飛船之口上書	中冊1747頁
臺灣	タイワン	享保02年	1717	37番臺灣船	下冊2777頁
臺灣	タイハン	享保03年	1718	26番廣東船	下冊2815頁
臺灣	タイワン	享保03年	1718	29番廈門船	下冊2818頁
臺灣	タイワン	享保03年	1718	38番咬留吧船	下冊2830頁
臺灣	タイワン	享保04年	1719	30番南京船	下冊2853頁
臺灣	タイワン	享保04年	1719	32番臺灣船	下冊2854頁
臺灣	タイワン	享保05年	1720	臺灣船	下冊2868頁
臺灣	タイワン	享保05年	1720	11番廣東船	下冊2878頁
臺灣	タイワン	享保05年	1720	16番南京船	下冊2883頁
臺灣	タイワン	享保06年	1721	17番寧波船	下冊2902頁
臺灣	タイワン	享保06年	1721	19番南京船	下冊2904頁

臺灣	タイワン	享保06年	1721	20番寧波船	下冊2905頁
臺灣	タイワン	享保06年	1721	21番廣東(寧波)船	下冊2905頁
臺灣	タイワン	享保06年	1721	22番寧波船	下冊2908頁
臺灣	タイワン	享保07年	1722	8番廈門船	下冊2934頁
臺灣	タイワン	享保07年	1722	10番臺灣船	下冊2936頁
臺灣	タイワン	享保07年	1722	11番南京船	下冊2937頁
臺灣府	タイワンフ	貞享02年	1685	1番福州船	上冊0450頁
臺灣府	タイワンフ	貞享02年	1685	覚	上冊0496頁
閩安	ミンアン	延宝04年	1676	水手花名冊	上冊0162頁
閩安鎮	ミンアンチン	延宝05年	1677	2番南京船	上冊0176頁
閩安鎮	ミンアンチン	貞享02年	1685	6番福州船	上冊0458頁
閩安鎮	ミンアンチン	元禄05年	1692	4番福州船	中冊1410頁
鳳翔府	ホンシヤフウ	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0198頁
廣西	クワンスイ	延宝02年	1674	5番廣東船	上冊0069頁
廣西	クワンスイ	延宝02年	1674	5番廣東船	上冊0069頁
廣西	クワンスイ	延宝02年	1674	14番廣東船	上冊0077頁
廣西	クワンスイ	延宝02年	1674	14番廣東船	上冊0077頁
廣西	クワンシイ	延宝04年	1676	4番南京船	上冊0148頁
廣西	クワンシイ	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0150頁
廣西	クワンシイ	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧船	上冊0158頁
廣西	クワンシイ	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0197頁
廣西	クワンスイ	延宝06年	1678	7番廣東船	上冊0202頁
廣西	クワンスイ	延宝06年	1678	10番思明州船	上冊0206頁
廣西	クワンシイ	延宝06年	1678	13番東京船	上冊0208頁
廣西	クワンシイ	延宝08年	1680	28番廣東船	下冊3010頁
廣西	クハウセイ	貞享04年	1687	96番潮州船	上冊0768頁
廣西	クラウセイ	延宝07年	1679	16番思明州船	上冊0302頁
廣東	カントウ	延宝02年	1674	5番廣東船	上冊0069頁
廣東	カントウ	延宝02年	1674	6番咬留吧船	上冊0070頁
廣東	クワントン	延宝03年	1675	28番福州船	上冊0134頁
廣東	クワントン	延宝04年	1676	4番南京船	上冊0148頁
廣東	クワントン	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0150頁
廣東	クワントン	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧	上冊0157頁
廣東	クワントン	延宝04年	1676	21番廣東船	上冊0164頁
廣東	カントウ	延宝05年	1677	2番南京船	上冊0176頁
廣東	カントウ	延宝05年	1677	6番思明州船	上冊0187頁
廣東	カントウ	延宝05年	1677	11番思明州船	上冊0191頁
廣東	クワントン	延宝05年	1677	29番普陀山船	上冊0193頁
廣東	クワントン	延宝06年	1678	2番普陀山出し	上冊0195頁
廣東	クワントン	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0198頁

廣東	クワントン	延宝06年	1678	7番廣東船	上冊0202頁
廣東	クワントン	延宝06年	1678	10番思明州船	上冊0205頁
廣東	クワントン	延宝06年	1678	23番福州船	上冊0275頁
廣東	クワントン	延宝06年	1678	25番福州船	上冊0277頁
廣東	クワントン	延宝06年	1678	26番普陀山船	上冊0279頁
廣東	クワトン	延宝07年	1679	1番普陀山船	上冊0283頁
廣東	クワントン	延宝08年	1680	16番暹羅船	上冊0309頁
廣東	クワントン	延宝08年	1680	17番廣東船	上冊0310頁
廣東	カントウ	延宝08年	1680	29番福州船	上冊031頁
廣東	クハントン	延宝08年	1680	2番普陀山船	下冊3002頁
廣東	クワントン	延宝08年	1680	28番廣東船	下冊3010頁
廣東	カントウ/カソトウ	貞享01年	1684	1番阿蘭陀人風説書	上冊0413頁
廣東	カントウ	貞享02年	1685	3番福州船	上冊0455頁
廣東	カントン/カントウ	貞享02年	1685	4番5番福州船	上冊0456頁
廣東	カントウ	貞享02年	1685	79番南京船	上冊0533頁
廣東	カントウ	貞享03年	1686	15番普陀山船	上冊0554頁
廣東	カントウ	貞享03年	1686	73番廣南船	上冊0610頁
廣東	カントウ	貞享03年	1686	75番潮州船	上冊0612頁
廣東	カントウ	貞享03年	1686	76番廣南船	上冊0613頁
廣東	カントウ	貞享03年	1686	77番東埔寨船	上冊0613頁
廣東	カントウ	貞享03年	1686	81番廣東船	上冊0617頁
廣東	カントウ	貞享03年	1686	94番安南船	上冊0635頁
廣東	カントウ	貞享03年	1686	95番麻六甲船	上冊0636頁
廣東	カントウ	貞享04年	1687	31番高州船	上冊0690頁
廣東	カントウ	貞享04年	1687	44番高州船	上冊0699頁
廣東	カントウ	貞享04年	1687	96番潮州船	上冊0768頁
廣東	カントウ	貞享04年	1687	126番南京船	上冊0814頁
廣東	クハウトウ	貞享04年	1687	129番厦門船	上冊0818頁
廣東	カントウ	貞享05年	1688	3番寧波船	上冊0838頁
廣東	カントウ	享保02年	1717	31番廣東船	下冊2773頁
廣東	カントウ	享保03年	1718	6番厦門船	下冊2788頁
廣東	カントウ	享保03年	1718	14番廣東船	下冊2796頁
廣東	カントウ	享保03年	1718	26番廣東船	下冊2814頁
廣東	カントウ	享保03年	1718	39番廣東船	下冊2830頁
廣東	カントウ	享保04年	1719	28番南京船	下冊2851頁
廣東	カントウ	享保04年	1719	32番臺灣船	下冊2854頁
廣東	カントウ	享保04年	1719	34番厦門船	下冊2856頁
廣東	カントウ	享保04年	1719	35番厦門船	下冊2857頁
廣東	カントウ	享保04年	1719	子年1番咬留吧船	下冊2865頁
廣東	カントウ	享保05年	1720	臺灣船	下冊2869頁

廣東	カントウ	享保05年	1720	3番廣東船	下冊2870頁
廣東	カントウ	享保05年	1720	11番廣東船	下冊2877頁
廣東	カントウ	享保05年	1720	19番廈門船	下冊2885頁
廣東	カントウ	享保05年	1720	26番廣東船	下冊2891頁
廣東	カントウ	享保06年	1721	4番廣東船	下冊2901頁
廣東	ホクチウ	享保06年	1721	19番南京船	下冊2904頁
廣東	カントウ	享保08年	1723	14番廣東船	下冊2976頁
廣東	カントウ	享保09年	1724	34番南京船	下冊2993頁
廣東	カントウ	延宝07年	1679	16番思明州船	上冊0302頁
廣信府	クワンシンフウ	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧船	上冊0158頁
徳清縣	トクセイケン	元禄07年	1694	60番廣東船	中冊1673頁
澄海	チンハイ	延宝06年	1678	10番思明州船	上冊0205頁
澄海	テウカイ	貞享04年	1687	105番高州船	上冊0780頁
潮州	チヤウチウ	延宝02年	1674	5番廣東船	上冊0069頁
潮州	チヤウチウ	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧船	上冊0158頁
潮州	チヤウシウフ	貞享03年	1686	75番潮州船	上冊0612頁
潮州	テウシウ/テウジウ	貞享03年	1686	78番廣東船	上冊0615頁
潮州	テウシフ	貞享04年	1687	96番潮州船	上冊0768頁
潮州	チヤウシフ	元禄02年	1689	59番潮州船	中冊1135頁
潮州	テフシフ	元禄06年	1693	44番潮州船	中冊1549頁
潮州	チヤウシウ	享保06年	1721	4番廣東船	下冊2901頁
潮州府	チヤウチウフ	延宝03年	1675	28番福州船	上冊0134頁
潮州府	チヤウチウフウ	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0150頁
潮州府	チヤウチウ	延宝04年	1676	21番廣東船	上冊0165頁
潮州府	チヤウシウフ	延宝05年	1677	3番思明州出シ船	上冊0179頁
潮州府	チヤウシウフ	延宝05年	1677	6番思明州船	上冊0187頁
潮州(府)	テイシウ(フ)	延宝05年	1677	11番思明州船	上冊0191頁
潮州府	チヤウチウフウ	延宝05年	1677	29番普陀山船	上冊0193頁
潮州府	チヤウチウフウ	延宝06年	1678	7番廣東船	上冊0203頁
潮州府	チヤウチウフウ	延宝06年	1678	10番思明州船	上冊0205頁
澎湖	ホウコ	享保06年	1721	23番臺灣船	下冊2909頁
膠州	ケウジフ/ケウシフ	元禄08年	1695	薩摩漂着之唐人共以誓詞申口	中冊1710頁
諸城	シヨセイ	元禄06年	1693	71番山東船	中冊1582頁
鄱陽湖	ホウヤンフウ	延宝05年	1677	29番普陀山船	上冊0193頁
餘姚縣	ヨヤウケン	元禄02年	1689	13番寧波船	中冊1082頁
餘姚縣	ヨヤウケン	元禄04年	1691	6番寧波船	中冊1305頁
餘姚縣	ヨヤウケン	元禄04年	1691	9番温州船	中冊1308頁
澧州	リイチウ	延宝04年	1676	21番廣東船	上冊0165頁
興化	ヒンハア	延宝02年	1674	8番9番東寧船	上冊0071頁
興化府	カウクワフ/コウクワフ	延宝05年	1677	2番南京船	上冊0176頁

興化府	コウケフ	延宝05年	1677	3番思明州出シ船	上冊0177頁
興化府	コウクワフ/コウクハフ	延宝05年	1677	6番思明州船	上冊0187頁
興化府	ヒンハアフウ	延宝06年	1678	25番福州船	上冊0277頁
興化(府)	コウケ	貞享04年	1687	105番高州船	上冊0780頁
興化(府)	コウケフ	貞享04年	1687	120番南京船	上冊0806頁
興化府	ケウクワフ	享保04年	1719	子年001番咬留吧船	下冊2865頁
興化府	コウクワフ	享保05年	1720	7番厦門船	下冊2874頁
衡州府	ヘンチウフウ	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0197頁
衡州府	ヘンチウフウ	延宝06年	1678	26番普陀山船	上冊0278頁
衡州縣	ヘンチウヒエン	延宝06年	1678	23番福州船	上冊0275頁
遼東	レウトウ	元禄07年	1694	51番山東船	中冊1660頁
遼東	リヤウトウ	享保06年	1721	30番南京船	下冊2919頁
遼東	リヤウトウ	享保08年	1723	2番廣東船	下冊2966頁
遼東	リヤウトウ	享保08年	1723	13番寧波船	下冊2976頁
龍登澳?	リウトウワウ	天和03年	1683	2番廣東船	上冊0359頁
龍溪縣	リヤウケイケン	元禄09年	1696	47番漳州船	中冊1802頁
徽州	キジウフ	享保03年	1718	33番廣南船	下冊2824頁
臨江府	リンキヤンフウ	延宝06年	1678	3番南京船	上冊0198頁
臨門	リンモン	延宝05年	1677	29番普陀山船	上冊0194頁
薯塘澳	シヨウトウワウ	元禄14年	1701	62番寧波船	下冊2238頁
襄陽府	ジヤウヤウフ	貞享05年	1688	153番南京船	中冊0993頁
襄潭	シヤンタン	延宝07年	1679	1番普陀山船	上冊0283頁
鎮海	チンカイ	元禄10年	1697	11番普陀山船	下冊1859頁
雞籠	タカサゴ	萬治01年	1658	1番普陀山船	上冊0046頁
雞籠	けいらん	天和02年	1682	10番咬留吧船	上冊0350頁
雞籠	ケイラン	貞享01年	1684	1番廣東船	上冊0417頁
雞籠	ケイラン	貞享01年	1684	17番大泥船	上冊0436頁
雞籠	ケイラン	貞享01年	1684	20番暹羅船	上冊0437頁
瓊州	ケイシフ	貞享05年	1688	69番海南船	上冊0903頁
羅剎	ロウツア	貞享05年	1688	154番南京船	中冊0994頁
蘇州	ソシウ	貞享02年	1685	1番福州船	上冊0449頁
蘇州	ソシウ	貞享02年	1685	3番福州船	上冊0454頁
蘇州	ソシウ	貞享03年	1686	37番南京船	上冊0571頁
蘇州	ソシウ	貞享04年	1687	135番南京船	上冊0826頁
蘇州	ソシウ	元禄02年	1689	20番南京船	中冊1091頁
蘇州	ソシフ/ソシウ	元禄02年	1689	20番南京船	中冊1091頁
蘇州	ソシフ	元禄05年	1692	67番山東船	中冊1482頁
蘇州	ソシウ/ソシフ	元禄08年	1695	7番寧波船	中冊1705頁
蘇州	ソシウ	享保04年	1719	8番寧波船	下冊2837頁
蘇州	ソジウ	享保04年	1719	28番南京船	下冊2851頁

蘇州	ソジウ	享保04年	1719	34番厦門船	下冊2856頁
蘇州	ソシウ	享保05年	1720	26番廣東船	下冊2891頁
蘇州	ソシウフ	享保06年	1721	23番臺灣船	下冊2908頁
蘇州	ソジウ	享保06年	1721	30番南京船	下冊2919頁
蘇州	ソシウ	享保07年	1722	30番南京船	下冊2956頁
蘇州府	ソシフフ	貞享04年	1687	71番南京船	上冊0738頁
蘇州(府)	ソシウ	貞享05年	1688	5番南京船	上冊0841頁
蘇州府	ソシフフ	元禄03年	1690	18番南京船	中冊1190頁
蘇州府	ソシウフ	宝永06年	1709	21番南京船	下冊2612頁
饒州府	ジヤウチウフウ	延宝04年	1676	10番思明州11番東寧12番東寧	上冊0158頁
鞆	タタン	延宝06年	1678	7番廣東船	上冊0203頁
鞆	タタン	延宝06年	1678	10番思明州船	上冊0204頁
鞆	ダツタン/タツタン	元禄04年	1691	23番南京船	中冊1322頁
鞆	ダツタン	元禄05年	1692	72番南京船	中冊1489頁
鞆	ダツタン	元禄07年	1694	16番南京船	中冊1628頁
衢州	キュイチウ	延宝02年	1674	14番廣東船	上冊0077頁
衢州(府)	キュイチウ	延宝02年	1674	11番廣東船	上冊0075頁
衢州府	キイチウフウ	延宝04年	1676	4番南京船	上冊0148頁
衢州府	キイチウフウ	延宝04年	1676	6番潮州船	上冊0152頁
衢州府	クシフフ	貞享04年	1687	86番福州船	上冊0753頁
贛州	ヒンチウ/トンチウ	延宝02年	1674	14番廣東船	上冊0077頁
贛州	カンチウ	延宝03年	1675	28番福州船	上冊0134頁
靈隠(寺)	リンイン	元禄02年	1689	21番寧波船	中冊1093頁
鷺門	ロモン	貞享03年	1686	91番厦門船	上冊0631頁
觀音山	クハンインサン	延宝08年	1680	2番普陀山船	下冊3003頁
厦門	ヒヤアモン	延宝02年	1674	11番廣東船	上冊0076頁
厦門	カンモン	延宝03年	1675	11番咬留吧船	上冊0116頁
厦門	カモン	延宝05年	1677	3番思明州出シ船	上冊0179頁
厦門	カモン	延宝05年	1677	11番思明州船	上冊0191頁
厦門	ヒヤモン	延宝05年	1677	29番普陀山船	上冊0193頁
厦門	ヒヤアモン	延宝06年	1678	7番廣東船	上冊0203頁
厦門	ヒヤモン	延宝06年	1678	11番東寧船	上冊0207頁
厦門	ヒヤウモン	延宝06年	1678	23番福州船	上冊0275頁
厦門	ヒヤモン	延宝06年	1678	26番普陀山船	上冊0278頁
厦門	ヒヤアメン	延宝08年	1680	14番暹羅船	上冊0307頁
厦門	ヒヤアモン	延宝08年	1680	17番廣東船	上冊0313頁
厦門	ヒヤメン	延宝08年	1680	2番普陀山船	下冊3002頁
厦門	カモン	貞享02年	1685	4番5番福州船	上冊0457頁
厦門	カモン	貞享02年	1685	77番福州船	上冊0531頁
厦門	カモン	貞享03年	1686	63番咬留吧船	上冊0597頁

厦門	カモン	貞享03年	1686	66番厦門船	上冊0600頁
厦門	カモン	貞享04年	1687	44番高州船	上冊0699頁
厦門	カモン	貞享04年	1687	108番福州船	上冊0787頁
厦門	カモン	貞享05年	1688	29番福州船	上冊0866頁
厦門	カモン	享保03年	1718	21番南京船	下冊2801頁
厦門	カモン	享保03年	1718	咬留吧船	下冊2810頁
厦門	カモン	享保03年	1718	29番厦門船	下冊2818頁
厦門	カモン	享保04年	1719	28番南京船	下冊2851頁
厦門	カモン	享保04年	1719	30番南京船	下冊2853頁
厦門	カモン	享保04年	1719	32番臺灣船	下冊2854頁
厦門	カモン	享保04年	1719	34番厦門船	下冊2856頁
厦門	カモン	享保04年	1719	35番厦門船	下冊2857頁
厦門	カモン	享保04年	1719	子年001番咬留吧船	下冊2866頁
厦門	カモン	享保05年	1720	15番南京船	下冊2881頁
厦門	カモン	享保05年	1720	19番厦門船	下冊2884頁
厦門	カモン	享保06年	1721	20番寧波船	下冊2905頁
厦門	カモン	享保06年	1721	23番臺灣船	下冊2908頁
厦門	カモン	享保06年	1721	24番南京船	下冊2911頁
厦門	カモン	享保07年	1722	10番臺灣船	下冊2937頁
厦門	カモン	享保07年	1722	11番南京船	下冊2937頁
鎗山	タンサン	延宝08年	1680	2番普陀山船	下冊3003頁